荒木飛呂彦

ローマの「コロッセオ」とかの様な古い建築物がある所に行くと、いつも思う事がある。それは「この建物って、人が楽しい時も苦しい時も戦争の時も不況の時も新婚さんが幸せいっぱいの時も昔の芸術家が悩んでる時もA・ヘップバーンが来た時も雨の日も晴れの日も、ずうーっとずうーっと建ってるのだなぁ」となんかしみじみとした勇気が湧くような感動がある。そして自分の国、「日本」にはこの様な場所があるとしたなら、それはどこなのか？（62巻につづく）

●週刊少年ジャンプ・H10年36号～45号掲載分収録

JUMP COMICS

ジョジョの奇妙な冒険 61

そいつの名はディアボロの巻

荒木飛呂彦

ジョジョの奇妙な冒険 61
荒木飛呂彦
集英社

9784088726526

1929979003906

ISBN4-08-872652-9

C9979 ¥390E

定価410円

本体390円

雑誌 43001－52

ジャンプ・コミックス

目的地、コロッセオを目前にしたブチャラティの前にセッコが立ちふさがった!! 地下で繰り広げられるブチャラティとセッコの一騎討ち!! そして一縷の望みを胸にコロッセオでジョルノ達を待つ男の正体は!?

荒木飛呂彦

ジョースター家のルーツ
1880
1900
1920
1940
1970
1990
2000
ダリオ・ブランドー
殺害
殺害
ディオ
殺害
間接的に殺害
(1889)
ジョージ・ジョースターI世
(英国貴族領主)
メアリー
エリナ
ジョナサン
(波紋を修業)
(考古学者)
ジョージ・II世
(波紋力なし)
(空軍パイロット)
リサリサ
(エリザベス)
(波紋を修業)
ジョセフ
(ニューヨークの不動産王)
(波紋を修業)
スージーQ
(イタリア人)
ホリィ
空条貞夫
(日本人・ミュージシャン)
空条 承太郎
波紋の修業はないが
自らのスタンドをもつ
スタンド:『星の白金』
(老後のジョセフ)
日本人女性
(1989)
(ディオ 承太郎によって倒される。
(日本人・教師)
東方朋子
東方仗助
スタンド:『クレイジー・ダイヤモンド』
ジョルノ・ジョバァーナ
スタンド:『ゴールド・エクスペリエンス』

ジョルノ・ジョバァーナ（15歳）

ブチャラティ（20歳）
スタンド：「スティッキィ・フィンガーズ」

トリッシュ・ウナ（15歳）
スタンド：「スパイス・ガール」

ナランチャ（17歳）
スタンド：「エアロスミス」

ミスタ（18歳）
スタンド：「セックス・ピストルズ」

前巻までのあらすじ

これは一世紀以上にわたるディオとジョースター家の因縁の物語である…。

現代の日本――。ジョセフ・ジョースターの孫、空条承太郎はスタンドと呼ばれる超能力を持っていた。その影響で倒れた母を救い、元凶であるディオを倒すため、承太郎たちはエジプトに向かい、死闘の末、ディオを倒した。

＊　＊　＊

一九九九年の日本。地方都市、S市杜王町では「弓と矢」によって、スタンド使いが増やされていた!! 東方仗助たちは、正義の心で、殺人鬼、吉良吉影を追いつめ、これを倒した…。

＊　＊　＊

二〇〇一年のイタリア。ディオの息子、ジョルノはギャング団に入団し、ブチャラティたちとボスの娘を守る任につくが、ボスの目的は娘の抹殺だと知ったブチャラティたちは反旗を翻す。ボスを倒す鍵を握る謎の男が待つ、コロッセオを目前にした一行だったが…!?

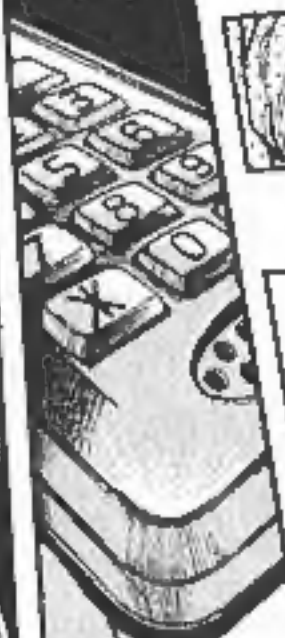
ジョジョの奇妙な冒険

GioGio 第61巻

そいつの名はディアボロの巻

もくじ

……
ブルブル！
ブルルル ブルル ブル！

ジョジョの奇妙な冒険
『グリーン・ディ』と『オアシス』その⑩

ジョルノッ！
ミスタノ意識が戻ルゾッ！
ドノクライカナッ!? 「コロッセオ」マデ
ココカラ何分グライデ行ケルカナ!?
……………
まさか……
ヤツは戦いの最中電話をしていたのか？
何を・・・知らせるために？
ブルルルルルルル
ブル…
トゥルルルルルルルルルルルル
ルルルルルルルル
トゥルルルルルルルルル

ルルルル ルルル ルルル
なん……………で
…………
トォルルル ルルルルル ルルルルル
どう……して
携帯に………
トゥルルルル ルルルル ルルルル
?出ない
チョコラート …う…うう〜
出ないんだ? 呼んでいるのに〜〜……? よオオオオ
?
『グリーン・ディ』と『オアシス』その⑩

ビコン
ビコンビコン
ビコン
ビコン
ピコン
ピコン
ピコン
件数
2
ピコッ ピコッ ピコッ
件数
2
えっと……
この点滅は……？
？
なんだっけ？
……えと
そっ！
そうだッ！
「留守録メッセージ有り」の……
点滅だ!!
たしかッ！
件数は……
2件だッ！
いつの間に
かかって
来たんだ？
散歩してる間か
ピチ
セッコ
わたしだ
チヨ……!!
チョコラートだッ!!
ウヘヘヘへヘヘヘ
ヘヘヘヘヘヘ
ははははは！

さすがにヘリコプターが「樹木」に捕まった時はちょっと焦ったが
よしッ!!
すでに拳銃使いのミスタは仕留めた!
今 新入りのジョルノ・ジョバァーナがこのヘリまで登って来るようだ しかしもう どうってことはない
わたしの勝利だッ!

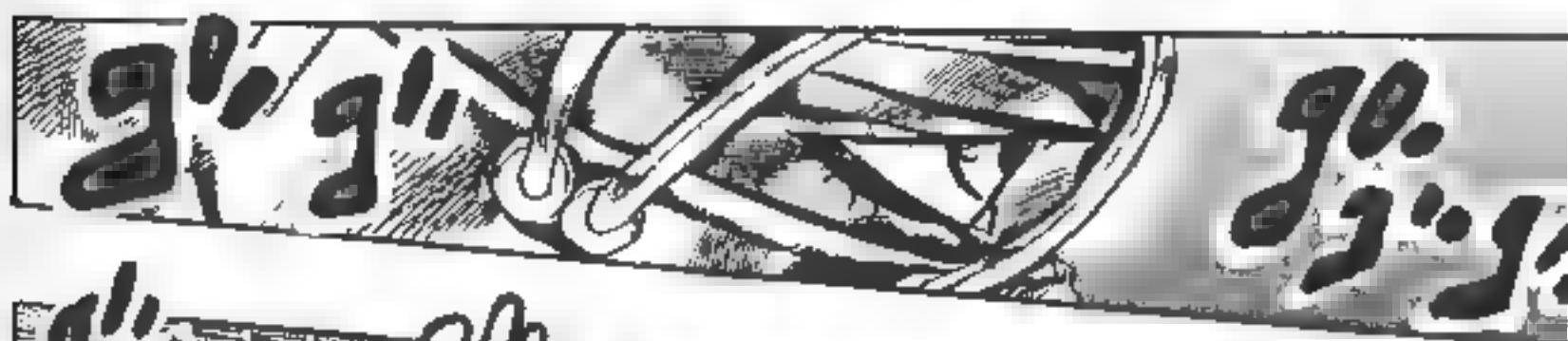
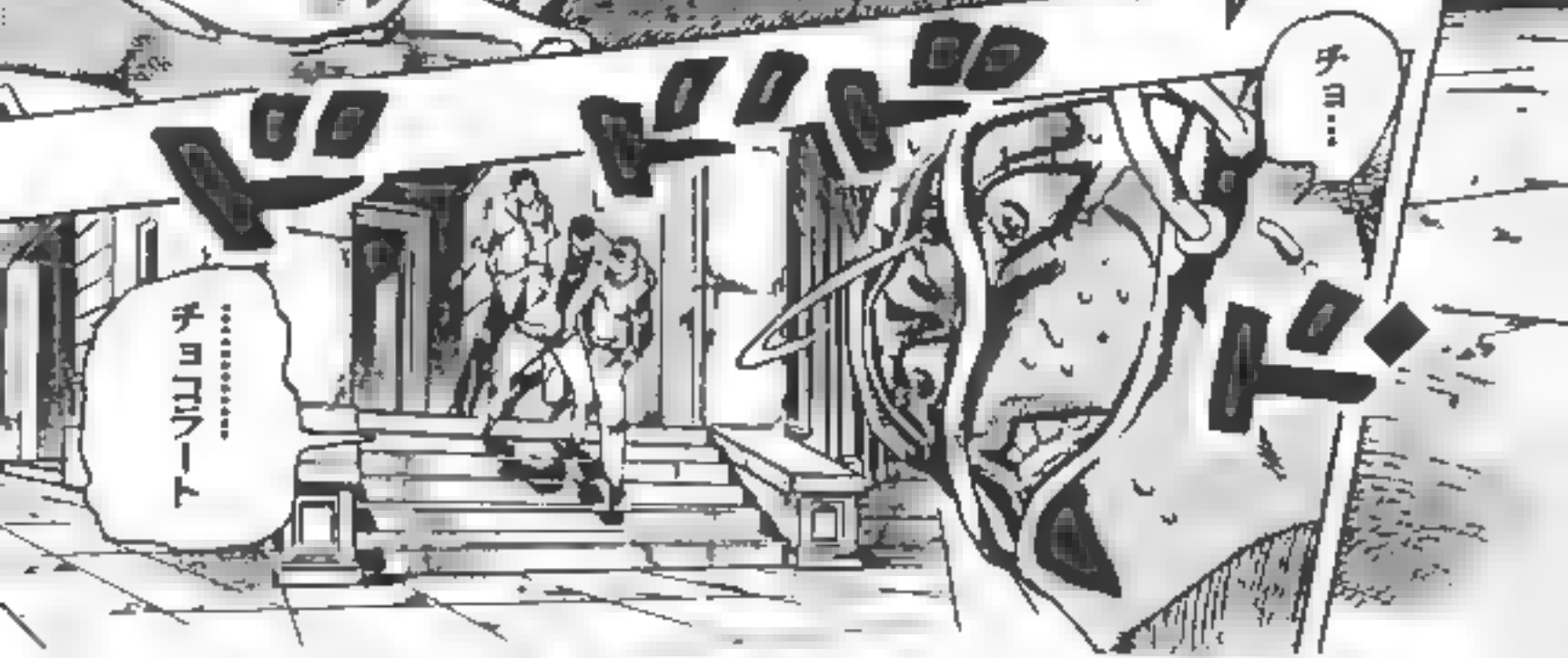
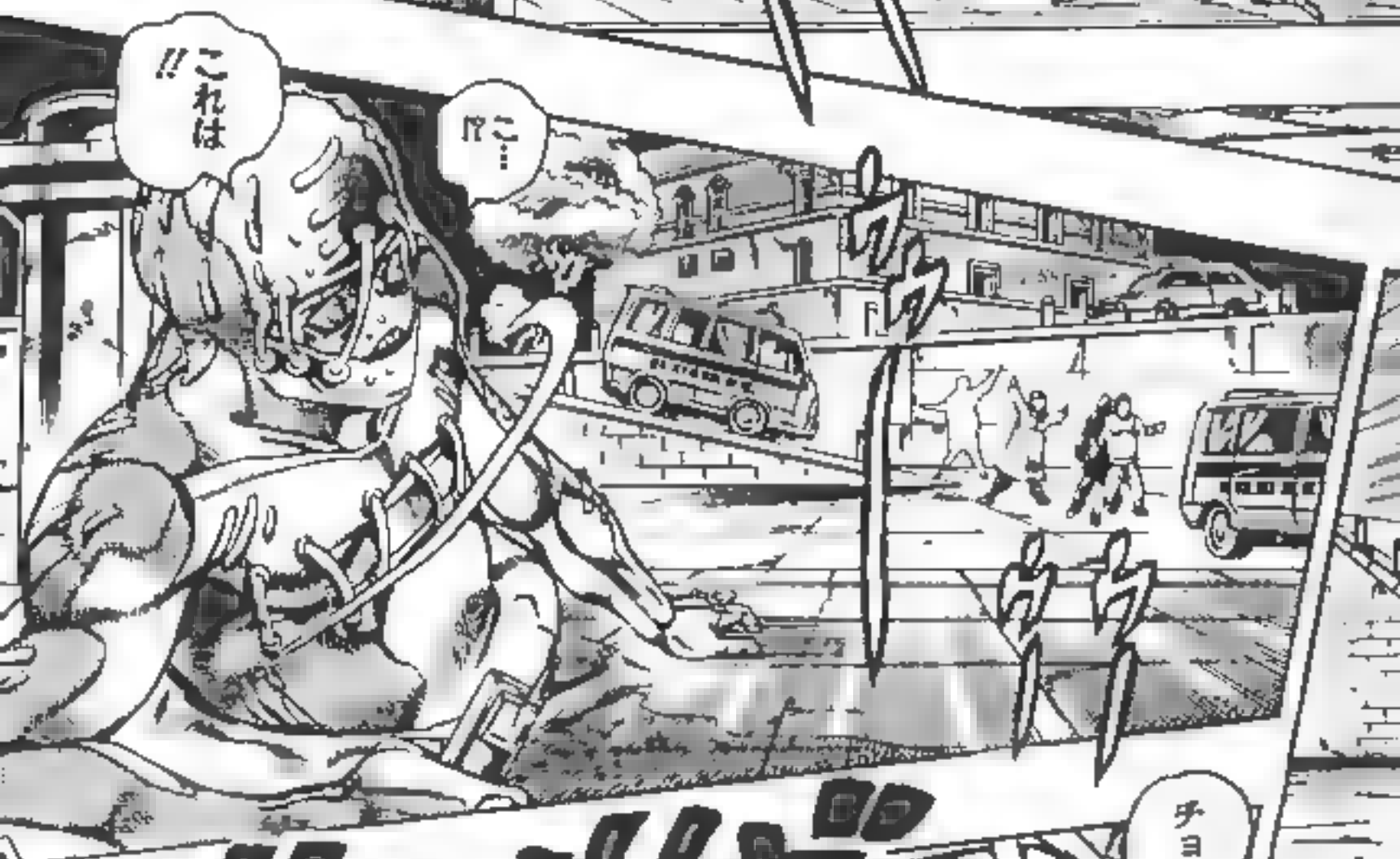
ええ〜〜〜ッ!
やああ あああだあ あああああ
もォ〜〜〜ッと
もオオオ オオオ もオーッ とオオオオ
うそだよ!
5個投げてやろう!
ウヘーっ♡
同時に5個口でキャッチできるかな?
手使っちゃだめだぞ
うん! うん!! うん!!
うんうんうん! うんうんうんうんうんうん うんうんうんうんうんうん

いいか　セッコ……
オレたちは無敵だ
強者は弱いやつらを支配してもいい資格があるのだ
いや……
他人を支配しなくてはならない宿命が強い者にはあるのだ…
たとえそれがボスだろうとな…
わたしはこの闘いで…ついでにボスも乗り越えるつもりだ…
おまえもやるんだ!!セッコ……おまえは強い
………
ジョルノが来た　もう切るが……
わたしは……
だから　おまえのことが好きなんだ……
行くぞ…

ドドド
……やったのか!?
ジョルノとミスタ
キョロ
「ヘリの男」を……!!
キョロ
ドドド
ドドド

いたる所で事故ってるらしいぞ
このローマで何が起こったんだ！？
？
助けるんだッ
こっちこっち
階段の下だーーッ

あ！
見ろ！
あの下にも
人が倒れてるぞ！
これは!!
こ…
チョ…
チョコラート……

ピピピ
ピピ
件数
セッコ わたしだ
ブチャラティは始末したか?
わたしの方は予想外の事が起こった
……
これからジョルノを仕留めはするが
少しばかり腕に負傷してしまった
念のためだが…
言っておきたい事がある
時間がないし大声ではしゃべれない
よく聞けセッコ
やつらの目的地は「コロッセオ」だ……
今ピストルズの会話でわかった……

「コロッセオ」で何者かが待ってるらしい…
その謎の人物はボスを倒す秘密を知ってる…！だからジョルノどもは会いに行こうとしてるしボスは阻止しようとしているのだ！
いいな…！ジョルノは倒すがもし わたしのカビのパワーが弱くなったらおまえが行くんだ……
誰よりも早く秘密を手に入れるのだおまえしかいない…
プッツン
こいつ
なんだ？…今の電話
まさか
ゴゴゴ
！！！

ふんッ！
くそ チョコラート
悲しむ……と…思うか？
あんたのこと……負けちまってよオオオオオオオオオオオ

あんたは頭もすごく良くて…
角砂糖投げて遊んでくれるし
預金もいっぱいある
そんで
とても強い…
って……
思っていた………
だから あんたの言う事聞いていれば安心と…
思っていた…
でも 弱いじゃあねえーかよォォォ
負けちまったんじゃあよォオォオォ
オオオオオオオ
そんなカスもう好きじゃなくなったよッ！
ぜーんぜん ねエエエエッ！
ペッ

バレている…ッ！
オレたちの目的地が「コロッセオ」だと
いう事が
こいつに知られている!!
「秘密」をつかむ気だ!!

向かわせんッ！

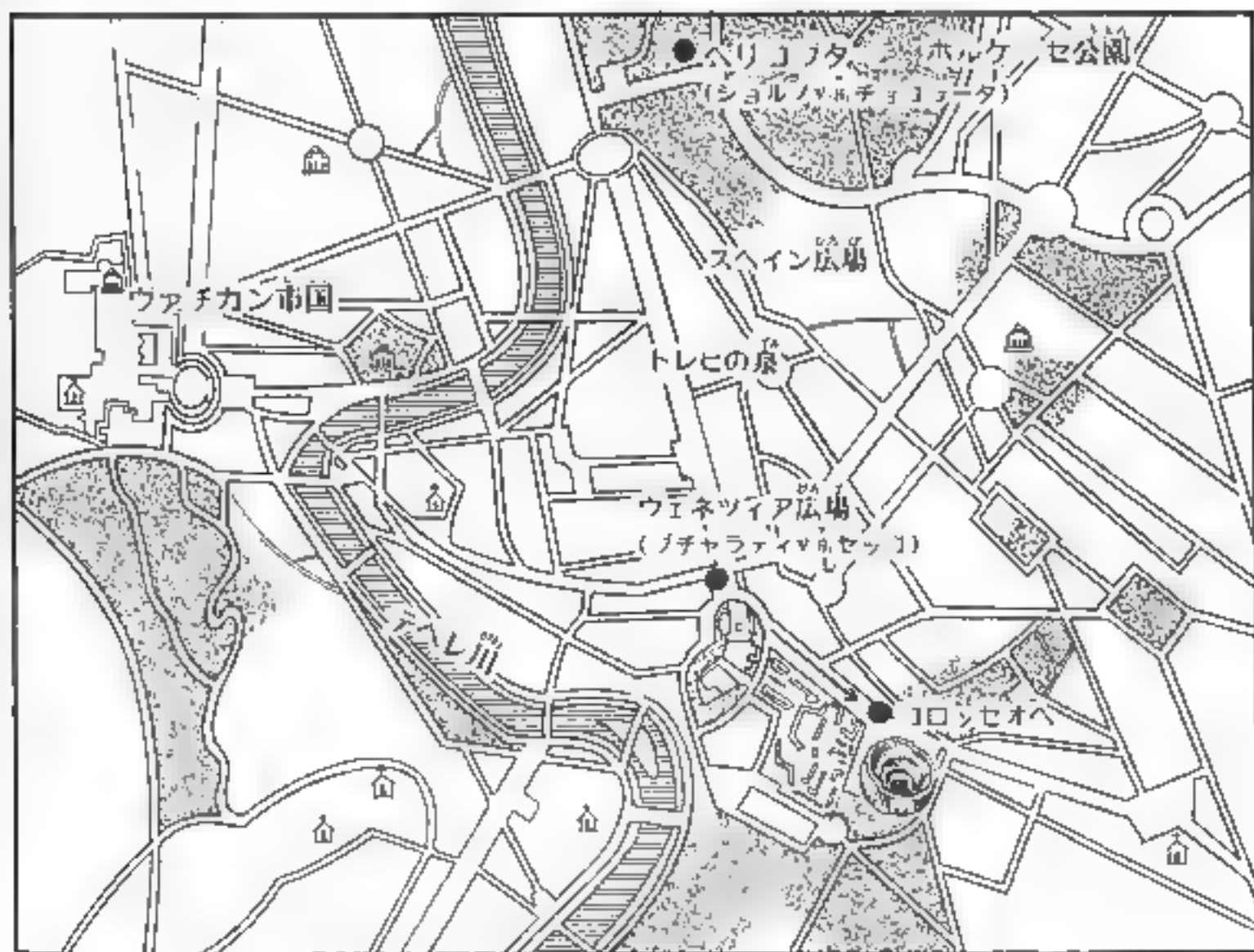
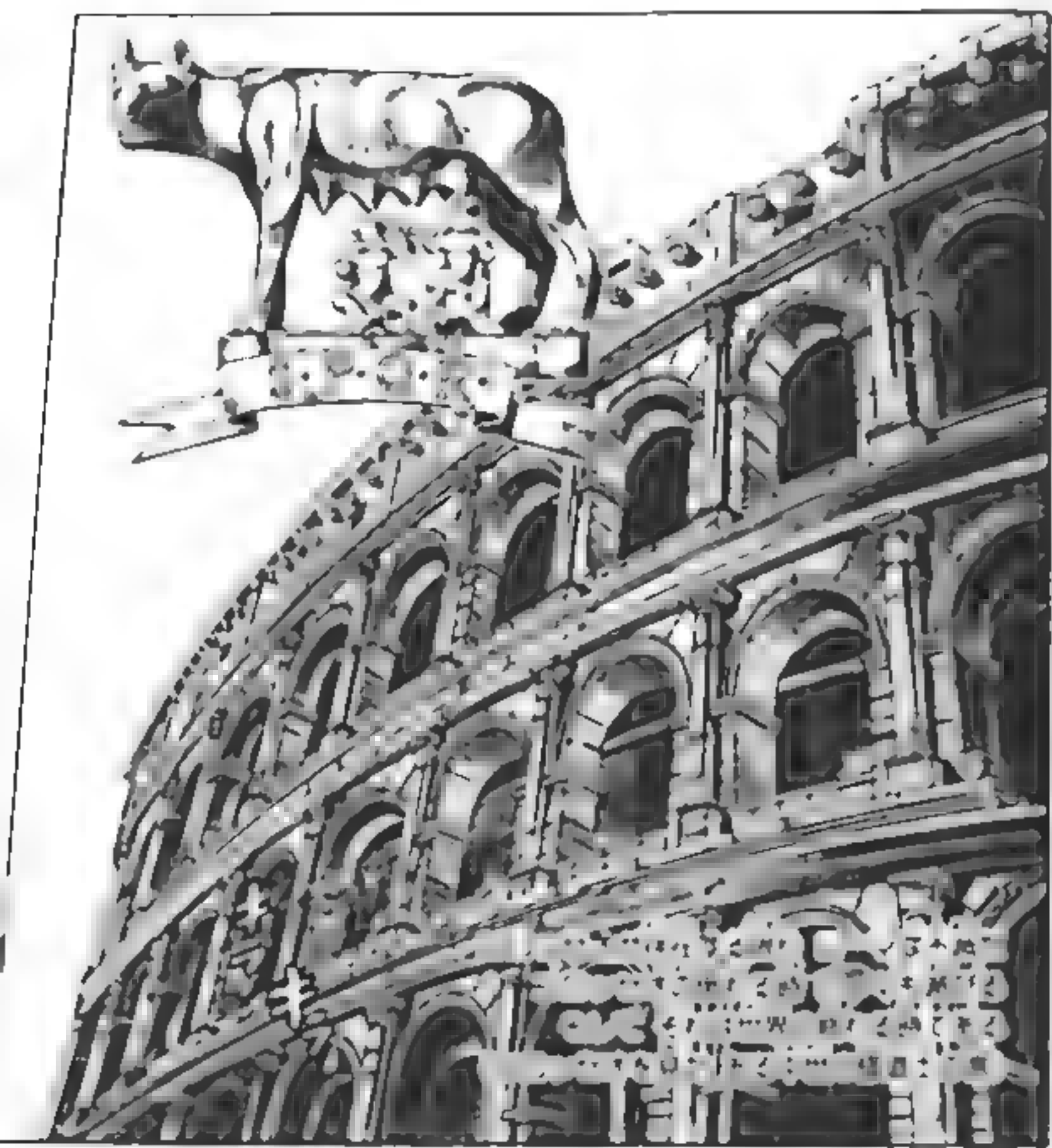
ズ
ハン…
ドム
半

分

くらえ！
『スティッキィー・フィンガーズ』

ザオッ

向イイイ——ッ
ところで「コロッセオ」ってさあ
「殺っせよ」オオ
って聞こえない？なあ～～？
闘技の歓声よオオオオオ
あんたを殺っす前に聞くけどよォ——

ローマ市街地図

『グリーン・ディ』と『オアシス』 その⑪

オレは今まで……
ドドドドド
さらに悪化している！
危機は「地中を自由に動ける」この男だ……!!
このオレがこいつを先にコロッセオに行かせたら

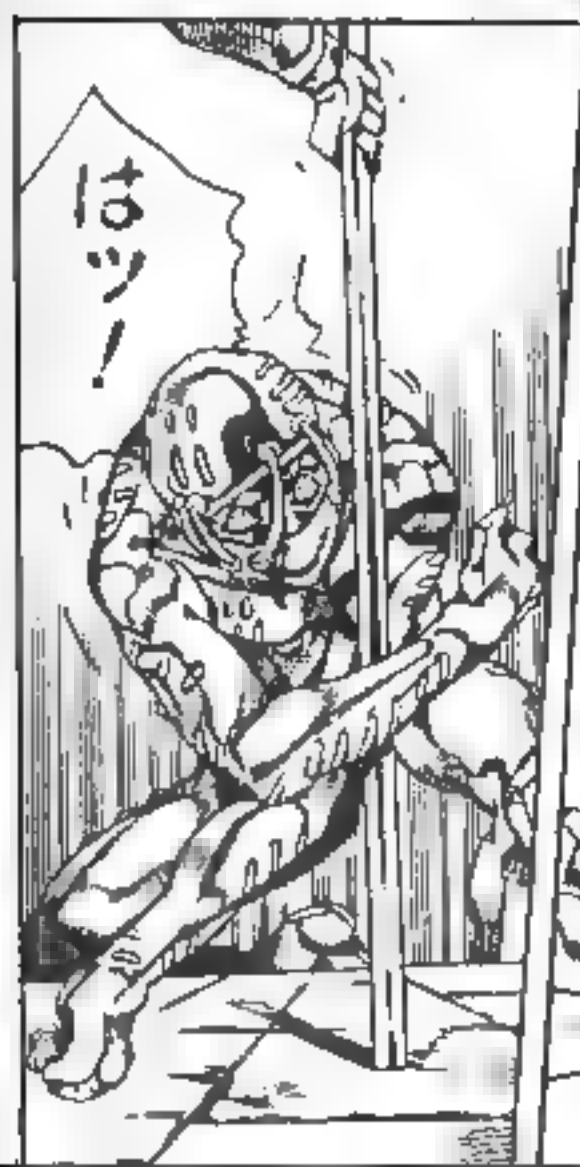
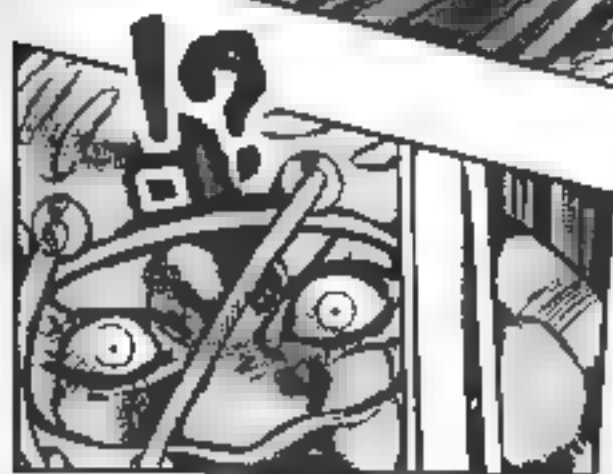
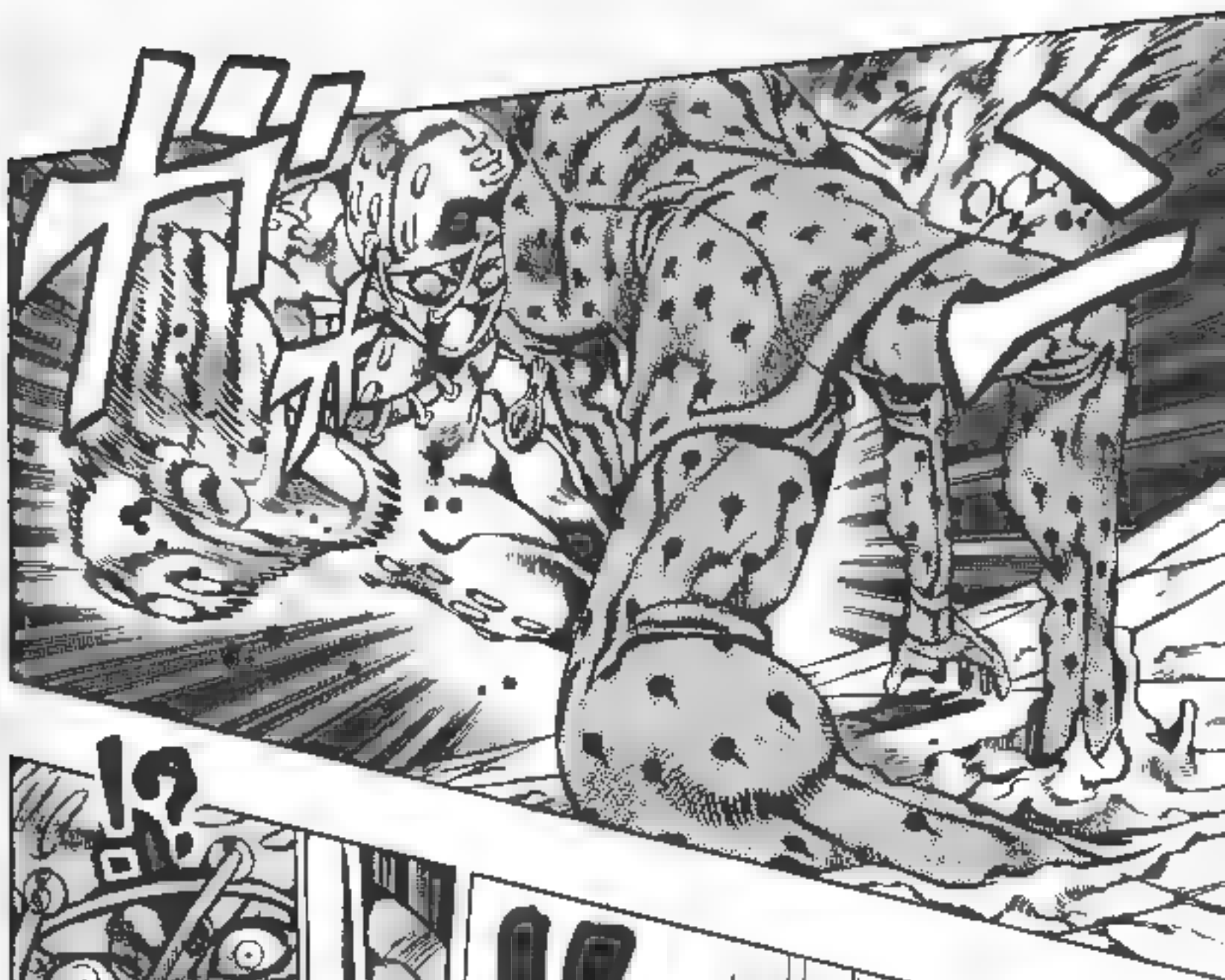
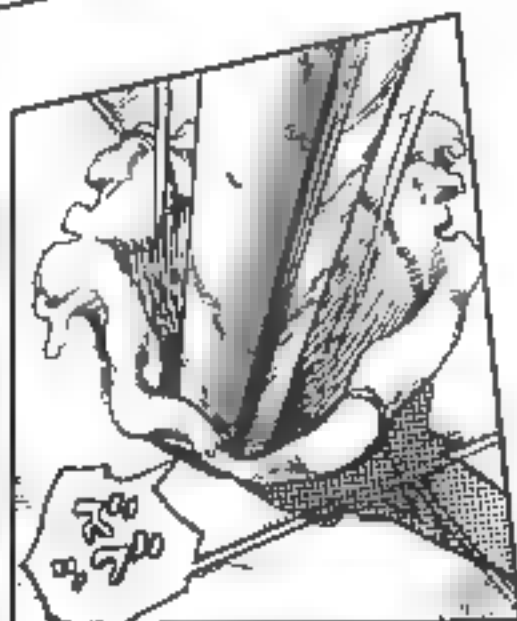
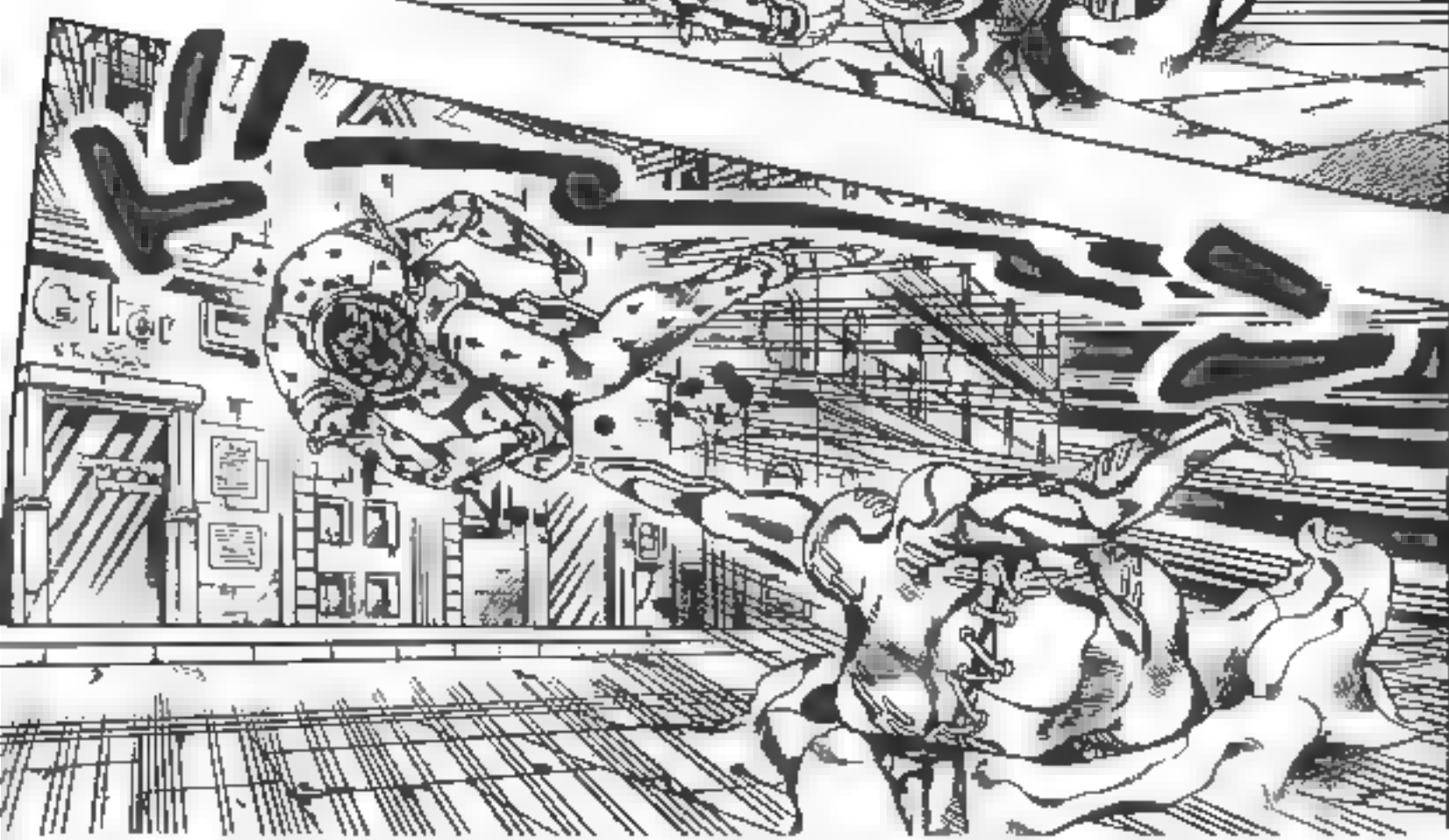
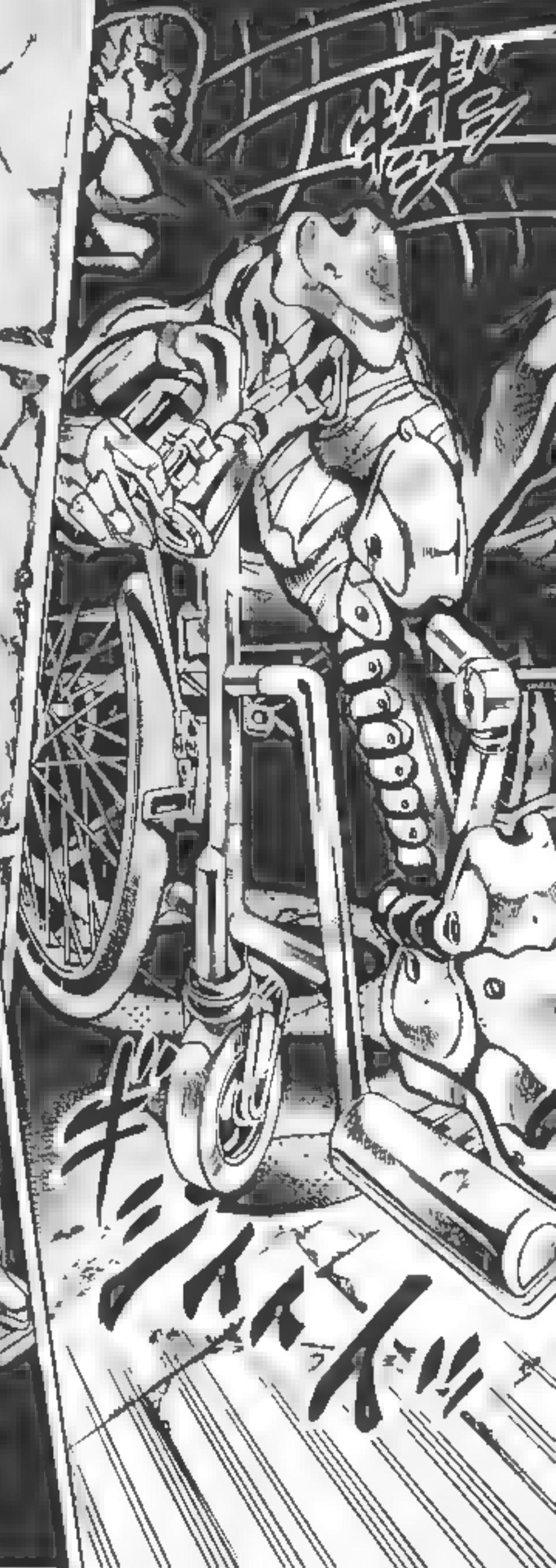
「ヘリの男」の「カビ」さえ止めれば危機は終わると思っていた…
だがまだ事態は……
ドギャーン
こいつは暴走するッ!

!?
はッ！

…………
ズズブブ
ズブ
うっとおしいぜ……
もうわかってんだ……フフフ
近距離のスピードとパワーなら
…ブチャラティ
ズブズブ
ズブッ
ズブッ
ズブズブ
ズブ

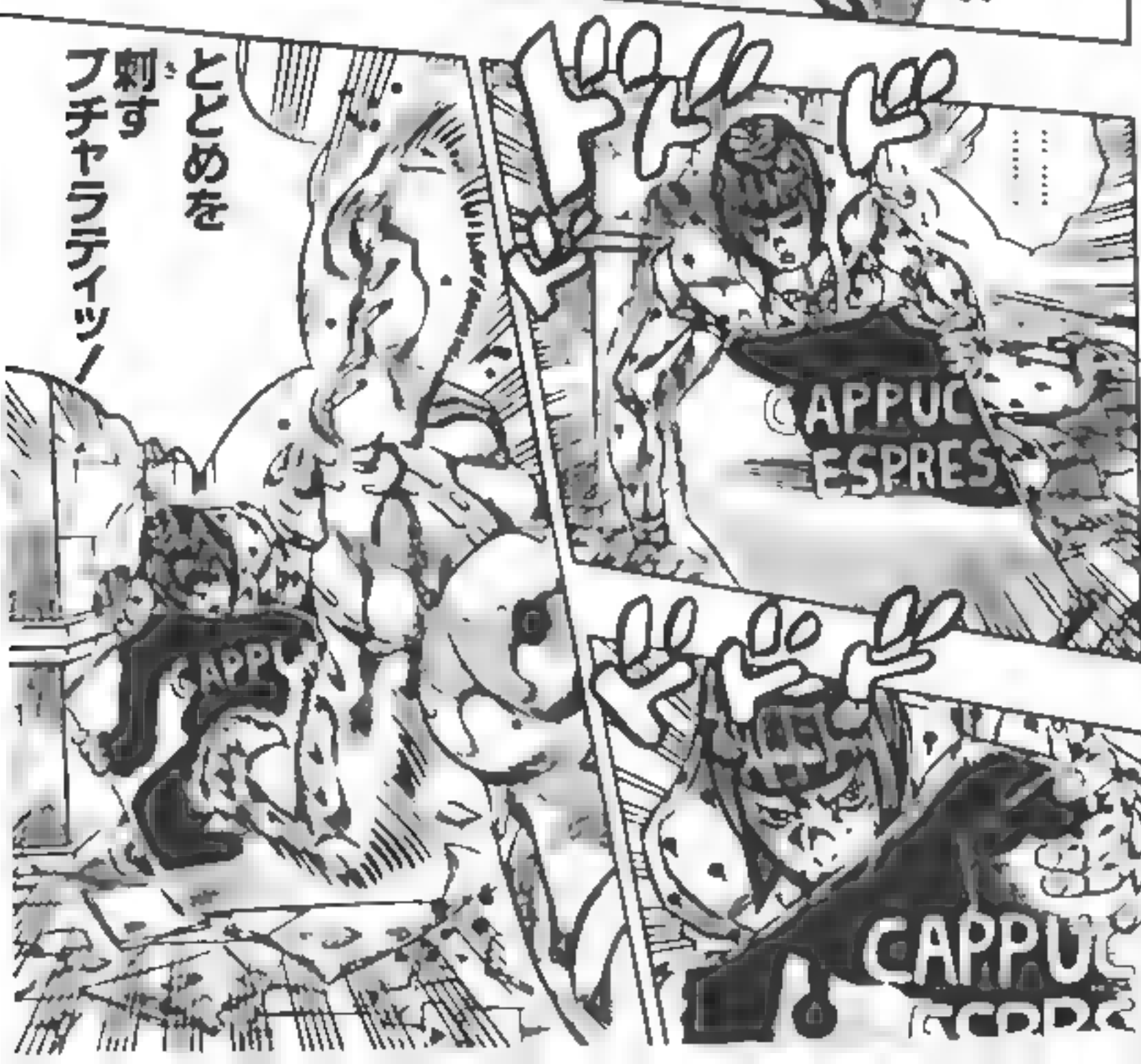
ズブ
ズズズ
ズブッ
邪魔だぜッ!
ここで始末するッ!!

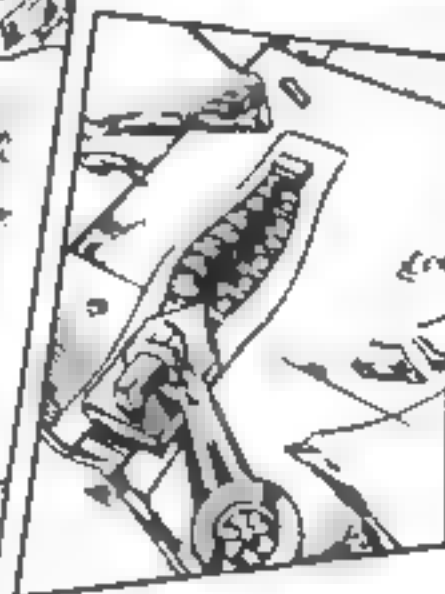
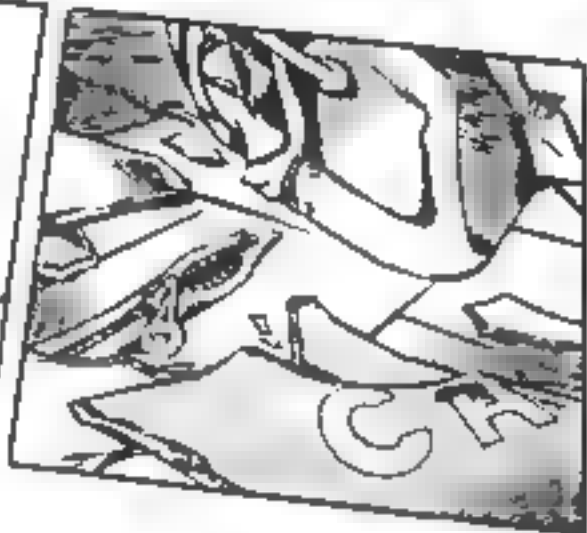
機転の……
きく…ヤツだ…
また逃れやがった…
かろうじて……
だがな
だがやはりヘンな肉体
だ
なんなんだよ……おまえは……?
ガラスがささったのに……
あまり血が出ない…
さっきもノトを切ったのにたいした事はないみたいだ

おめ・えも
見えたのかよ……
おい
なんだと思う
光ったよなあ
きっきもよォ――!
2階のアーチのところだろォ――
ドドド
ドドドド
ドドドド
ドドドド

何か隠れたぜ!
…………今のはッ!!
あ…………暗闇に………!!

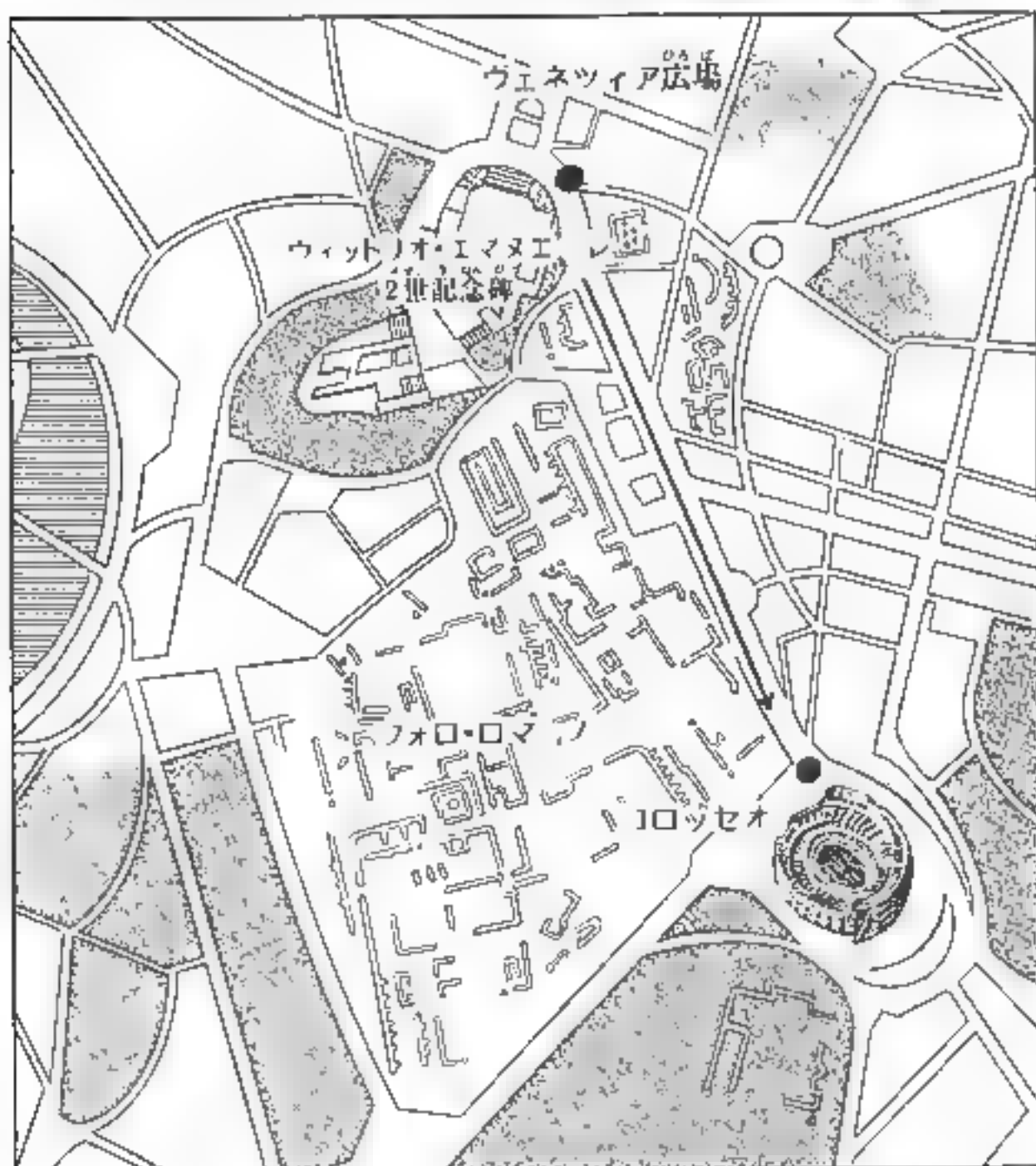
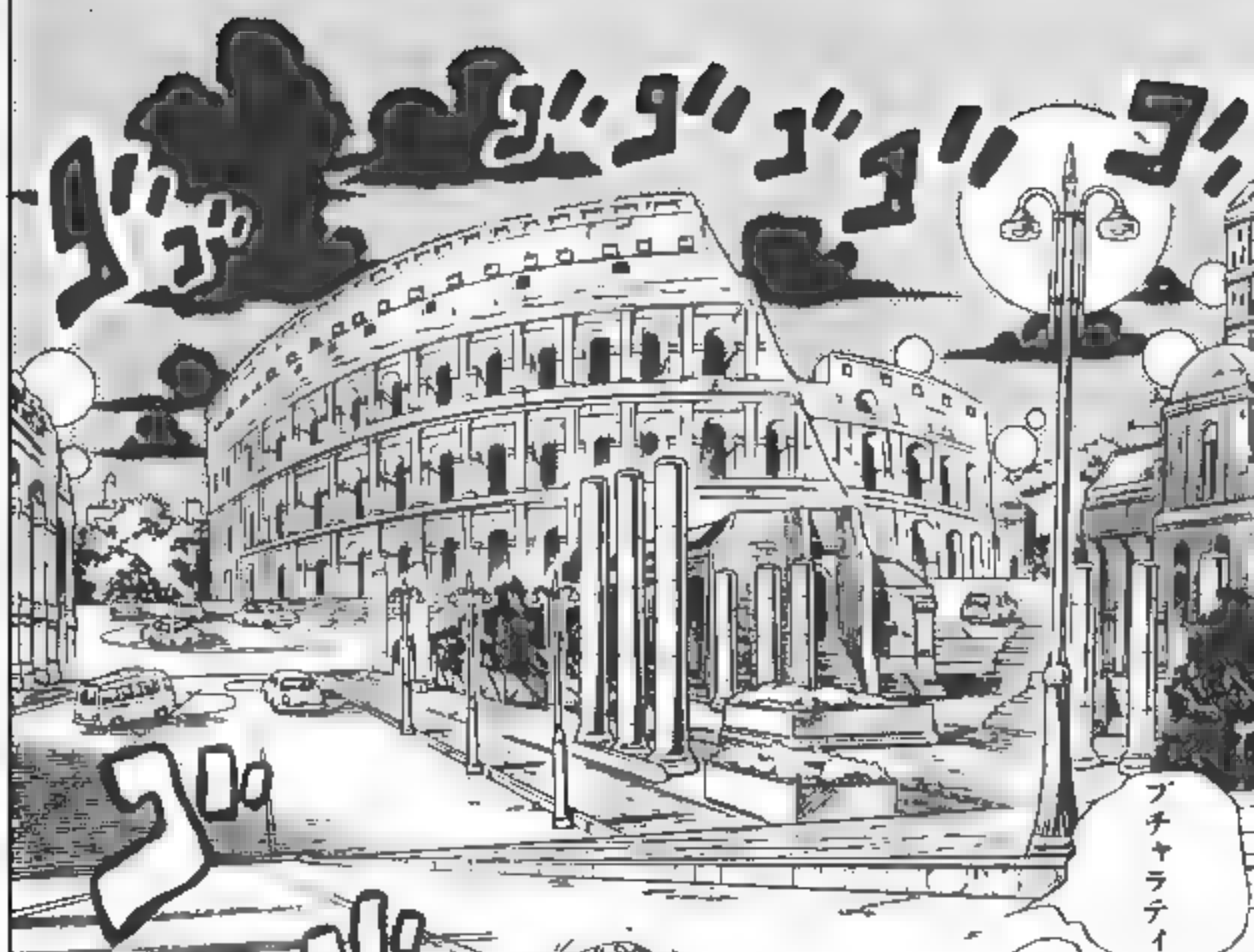
見えたッ！
チクリと見えたぜ！
光は反射だッ！
双眼鏡で
ここを見ていた
んだッ！
おまえらが
会いに行くヤツは
たしかにあそこに
いるッ！
車椅子に乗っていたよな
……!?〃
義足みたいのも見えたッ！
体に障害があるのかッ！

秘密はオレがもらうッ!!
おまえの体がなんだろうとよオオオオオオ
ととめを刺すブチャラティィッ!
CAPPUC
ESPRES
CAPPU
CAPPUC

CAPPUC
ESPRES
CAP
ESPRE
CAPPUC
ESPRES

なめてんのか!?
ジッパーで地面に……オレのマネを……
地面に隠れてこのオレにかなうとでも……
思ってんのかッ!
くらえ!
『オアシ…』

…………
隠れてんじゃあねえ…
移動している……
地面に感じるこの「振動」は……
地中を……
どっちかの方向に進んでいる「振動」だ
パ…パ…パクリやがって！
……だ…だれに向かって…こんなマネをやりやがってんだ？

コロッセオに先に向かってヤツを保護する気だッ!!!
ググッ! 呼吸をするためにはなッ 頭を出すッ
地中で息が長く続くはずがねえッ!
だ…だが素人がすぐに姿を……見せるッ!
死人でもねえ限……
……
や…野郎!!
だ…誰よりも先に秘密をつかむのはこのオレだ!
ドドドド

ブチャラティV.S.セッコ市街戦移動図

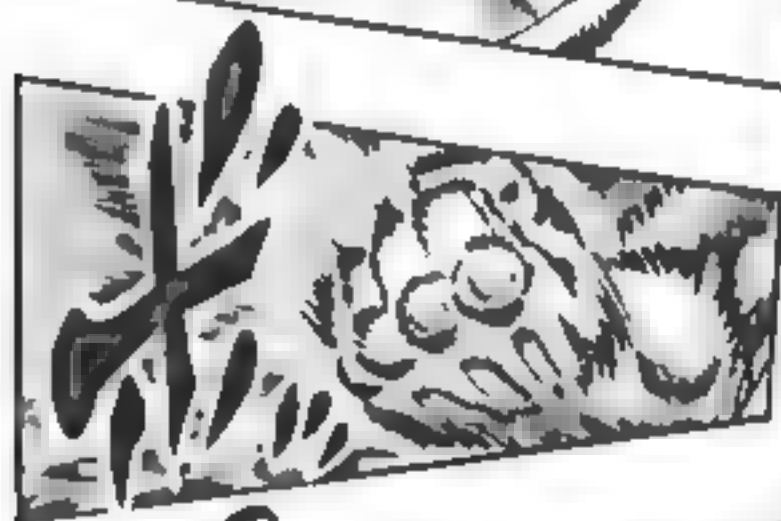
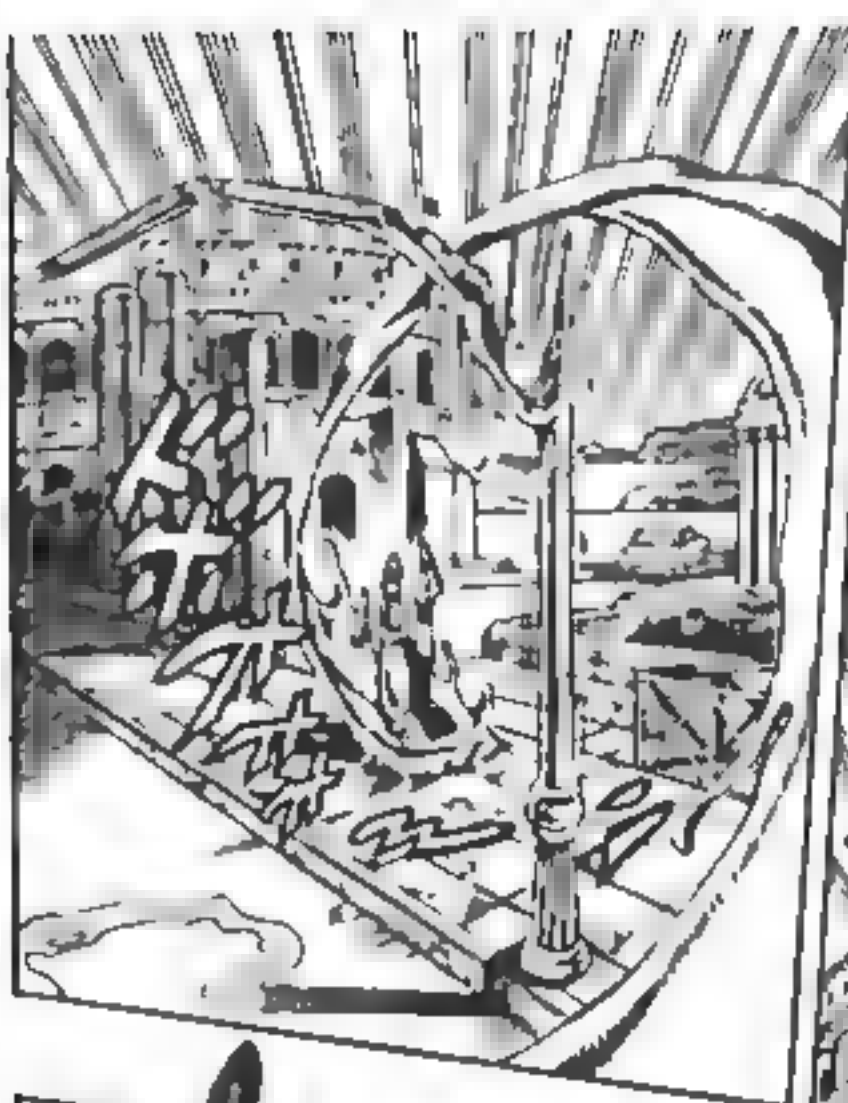
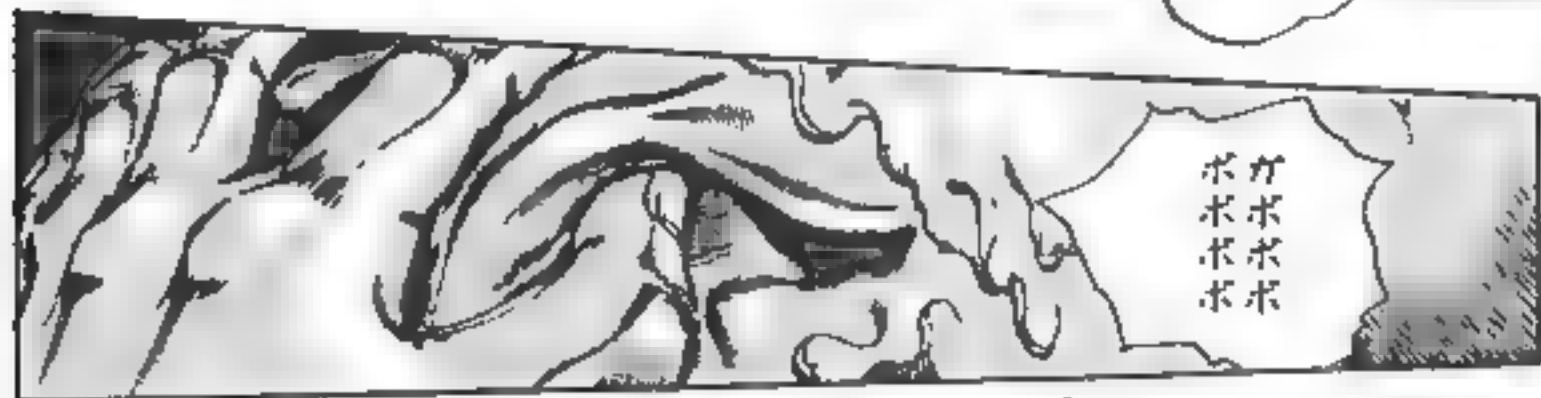
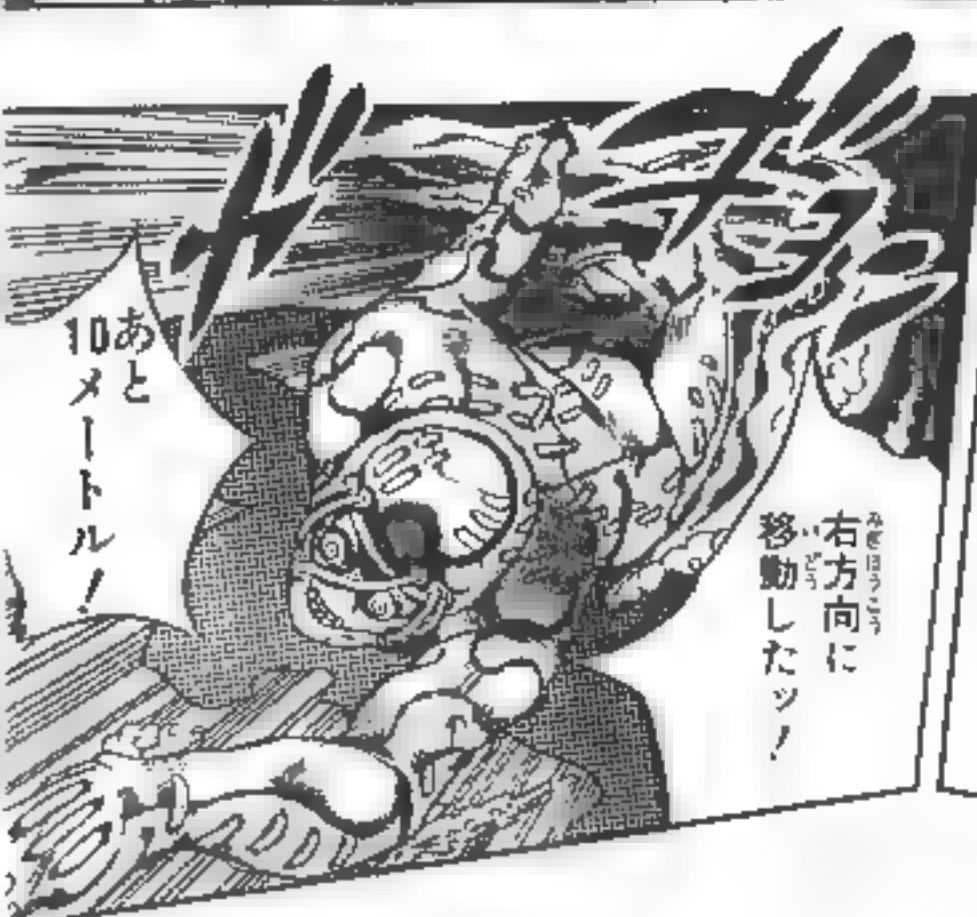
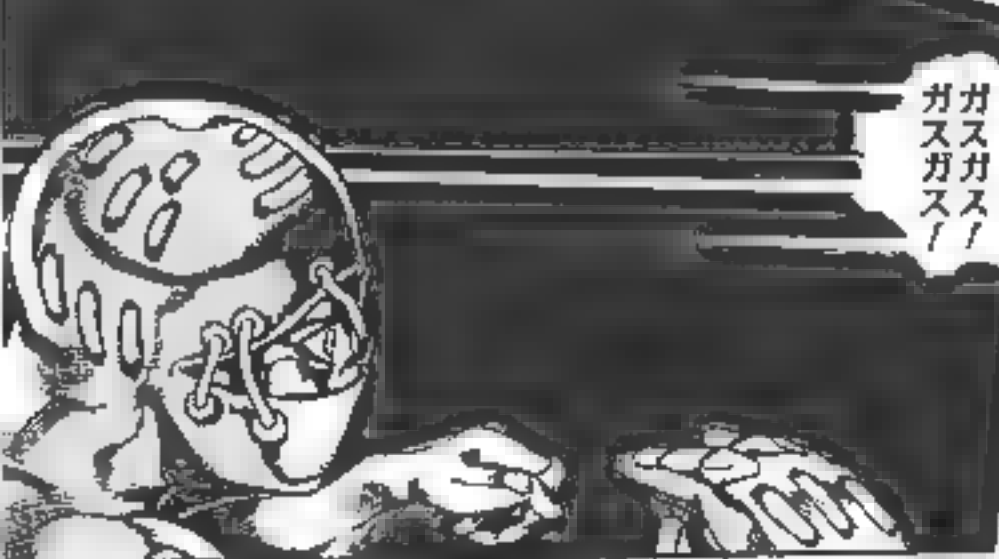
『グリーン・ディ』と『オアシス』
その⑫

『グリーン・ディ』と『オアシス』その⑫

小便のシミがついた「ジッパー野郎」のくせして……
オ…オレの特技を………
パクリ………やがって!
だが 貴様は しょせんよォオオオオオオオ オオオオ てめー自身の首を てめーて締めることになるッ――

ダァァ
コロッセオまで
行かせはしねッ——

ガボボオオ
ガボンガボボッ
ガボッ
ガボボン
ガボボボボボボ
ガボボボボボボ
ガボボボ
ドロッ
トローン
ドロッ

壁面が
柔かくなって来てる…
ゲボボ
ゲボボボボ
ゲボボボボボ
やはり…追跡して来たか…
ガボボボボボボ
どんどん真っ直ぐ
だが…この「音」は？
迷いがなく
オレの方に近づいてくるこの音は…!!
ガボボボボボボボボ
ゲボボボボ
「音」は固い地中よりも液化した方がよく反響して伝わってくるという……水の中のように……
ゲボボボボボボ
ヤツが地に潜る時オレが移動する時出る音もヤツの方に聞こえているという事かッ!!

ガスッ
ガスッ
ガスッ
ガスッ
ガス！
ガスガス！
ガスガス！
ガス！
ガス！
ガス！
予想以上に…
前に進んでたな
だがもう逃げられねえ…
よくわかるぜ
距離までよくわかる
……………
20メートルほど
左前方にヤツはいるッ！
右方向に移動したッ！
あと10メートル！

あと1メートル！
ガス！
ガス！
ガス！ガス
5メートル！
「首を絞める」じゃねえ…墓穴だ…
周りが地の壁に囲まれてよオオオオオ
自分で掘った自分の墓だブチャラティ
オレの拳の突きを防ぐ事ができるのかなあああああ！
あと2メートルッ！
ガス！
ガスッ！
追いついたッ！くらえブチャラ…………!!

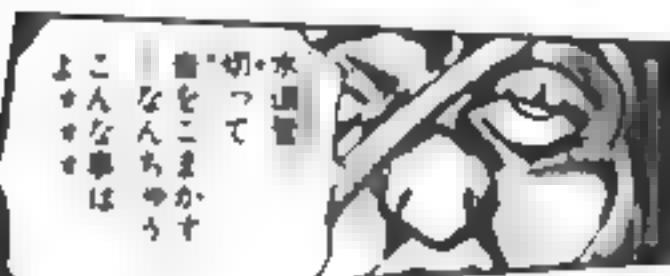
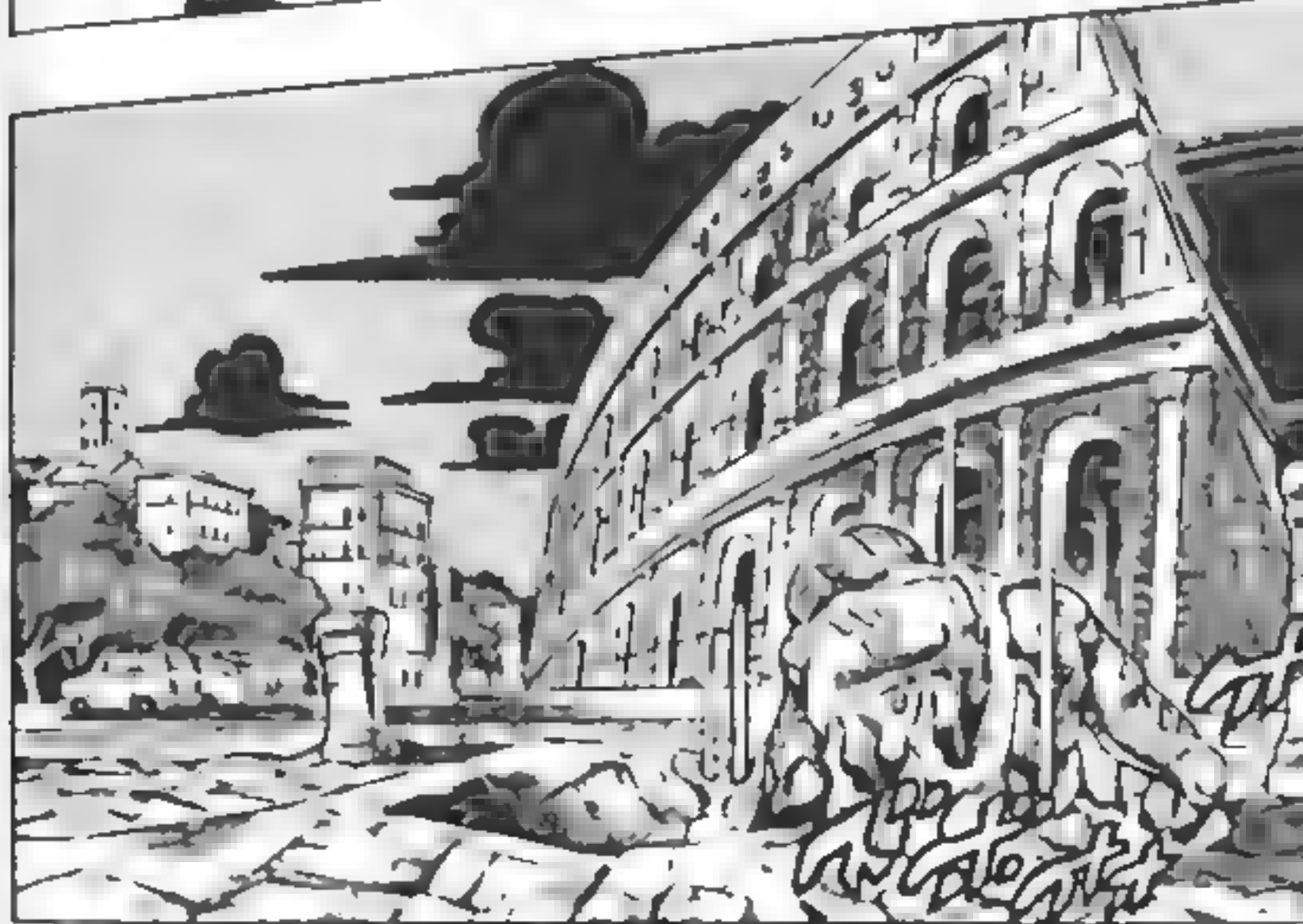
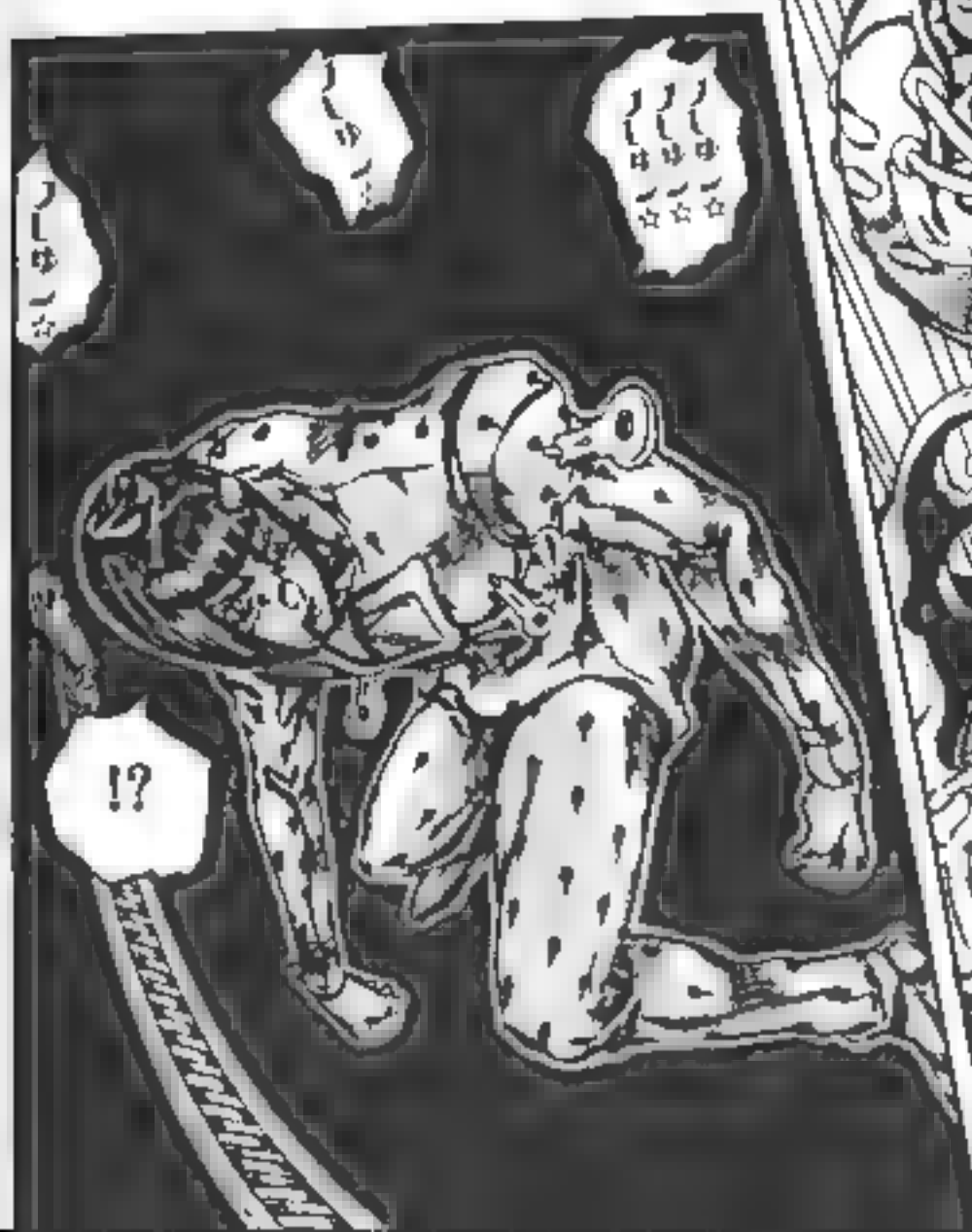
水道管
切って
音をごまかす
なんちゅう
こんな事は

こんな小細工は……
おまえが追いつめられたからやったという
おまえは認めたんだ 自分の脚力ではそのオアシスに追いつかれたら敗北するって事をな
どこかわからんが20メートル以内にいる事はわかっている!
動く音をたてて位置がバレぬよう!
じっとこらえているな!?
それとも何か「罠」をよォォ考えてんのかよ~~~
機転きくからな

だが……
もう
ベロン！
余裕なんかなくしてやるぜ……
機転きかすよオオオオオオオオオ

ふしゅー
!
?
ふしゅー☆ふしゅー☆ふしゅー☆
ふしゅー
ふしゅー☆
!?

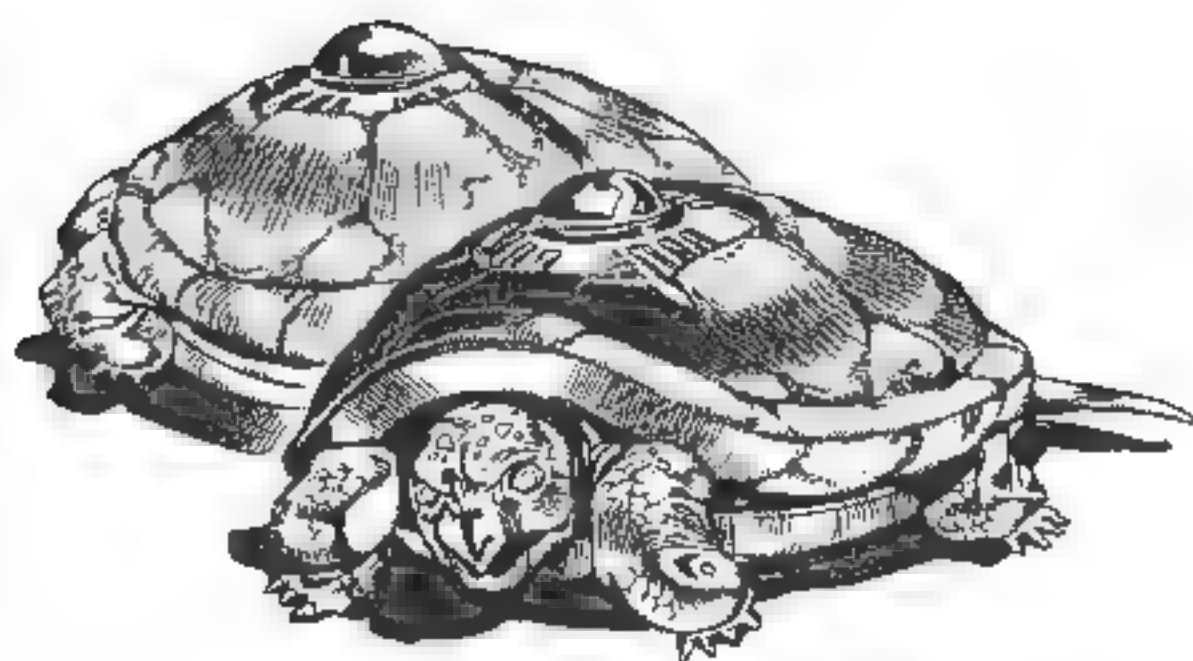
ノしゅーん☆
ノしゅーん☆
ノしゅーん☆
!?
ノしゅーん☆
ノしゅーん☆
ノしゅーん
ノしゅ
ノしゅーん☆
さっきとは違う音だ
なんだ…この音は……？
あらゆる方向から聞こえるぞ
何をしている
ノしゅん☆
ノしゅりゅりゅーん☆
ノしー☆

な!?
あうあ
……あっ……

ギャン!
ギャン
地面の下全はよォォォー
オレの「オアシス」が
触るから
ドロ化する
…んだああああああ
でも…
オレの体を
いったん
離れるとよォォォ
……………

再び固くなる!!
しっとして
ればよ・・・
やりすごせるかも
しれねえなあああ

だめだ…
もう地中にいる事は
できない…
覚悟は
していたが…
もし「彼」が
ここに来ない
のなら
だが……かといって
地表を走ることも
できない
このコロッセオで
「落ち合う
事」が…
敵追手に
知られて
しまったのか……

「矢」は破壊しなくてはならない…
「希望」は………
この「矢」と出会う『彼ら』なのだ…
あの「時を支配」できる「キング・クリムゾン」を越えることのできるのはこの「矢」の「真のパワー」を知る者だけだ…

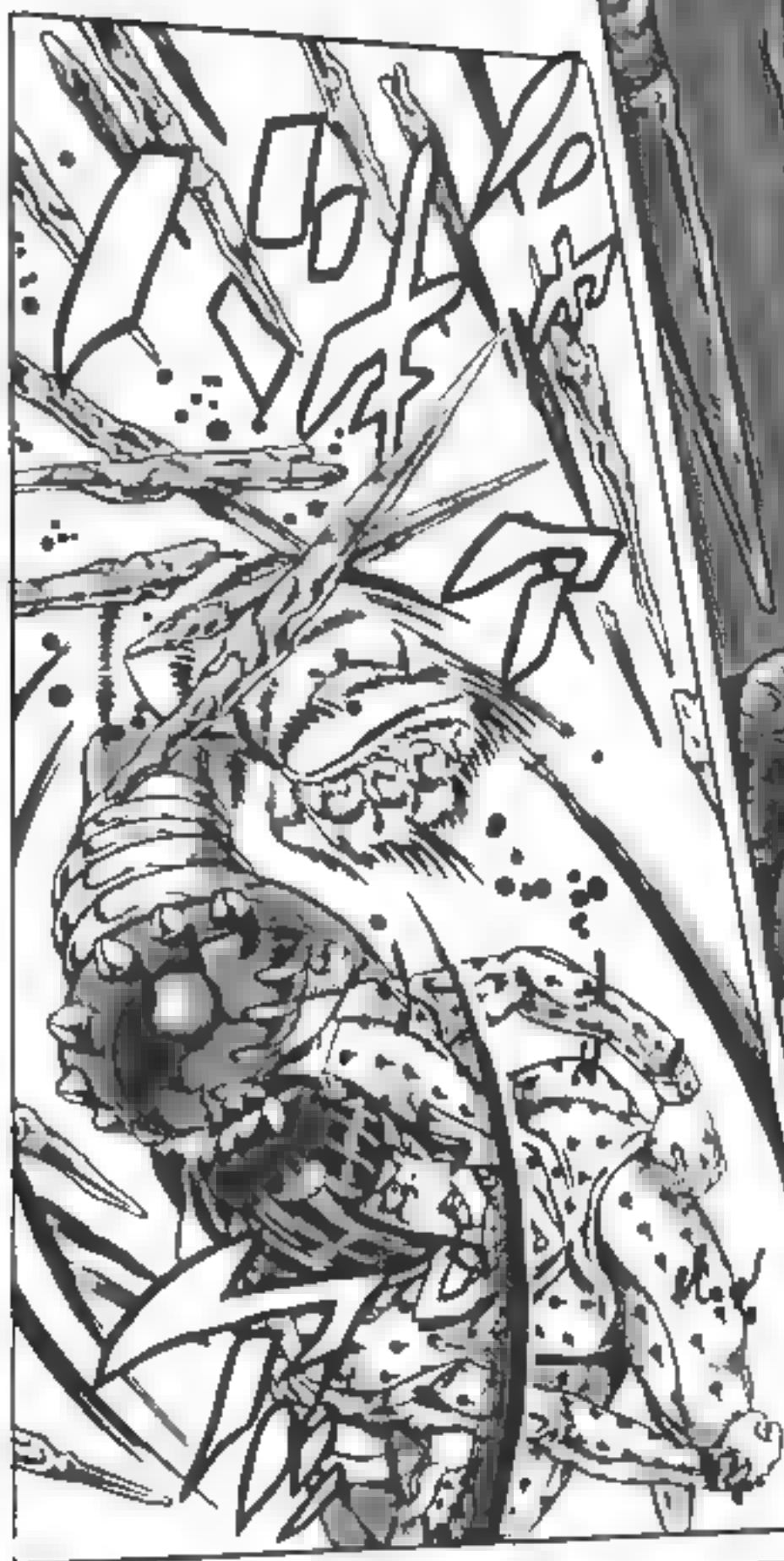
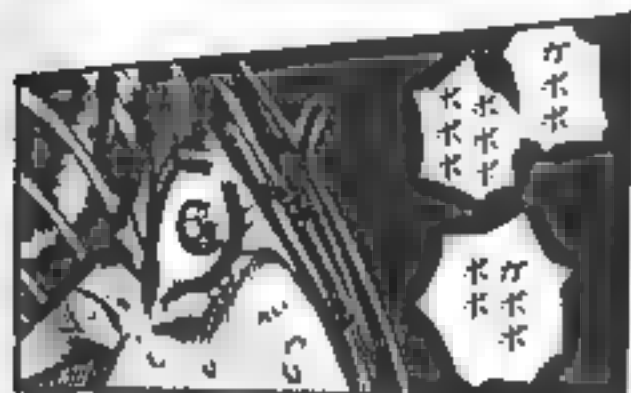
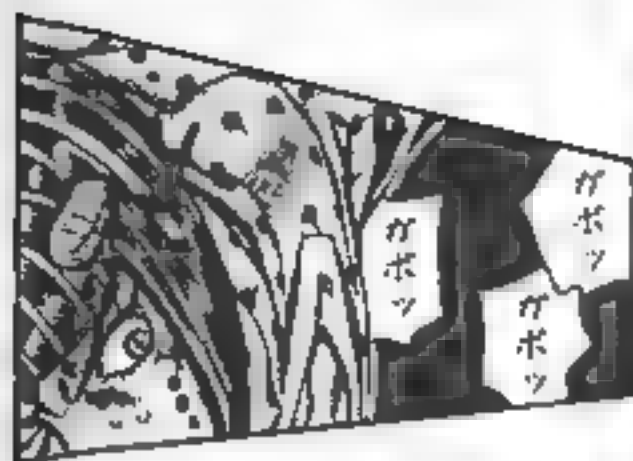
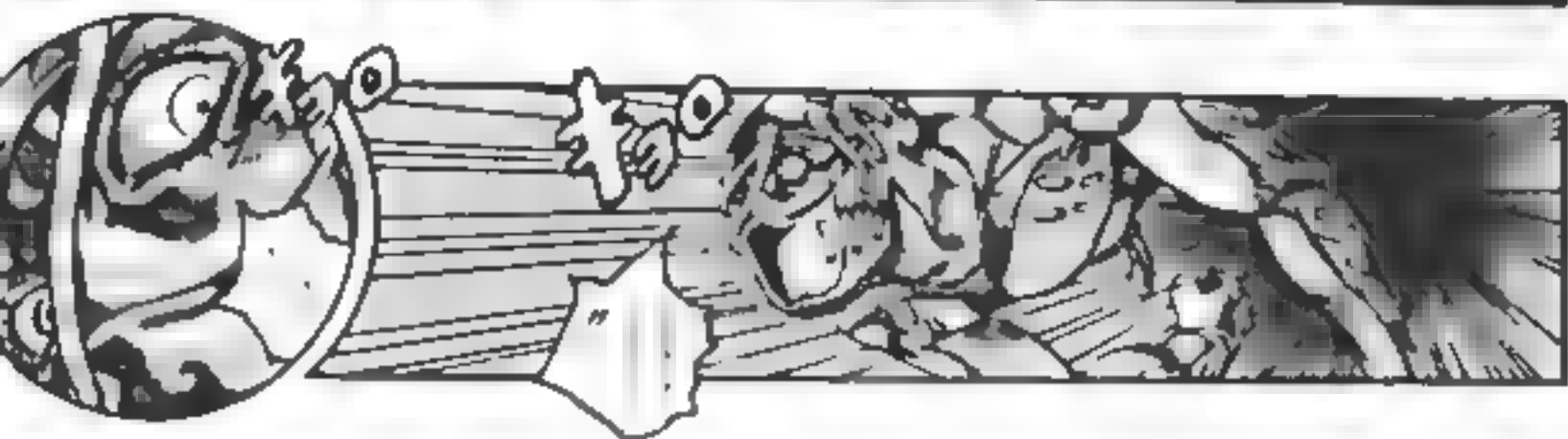
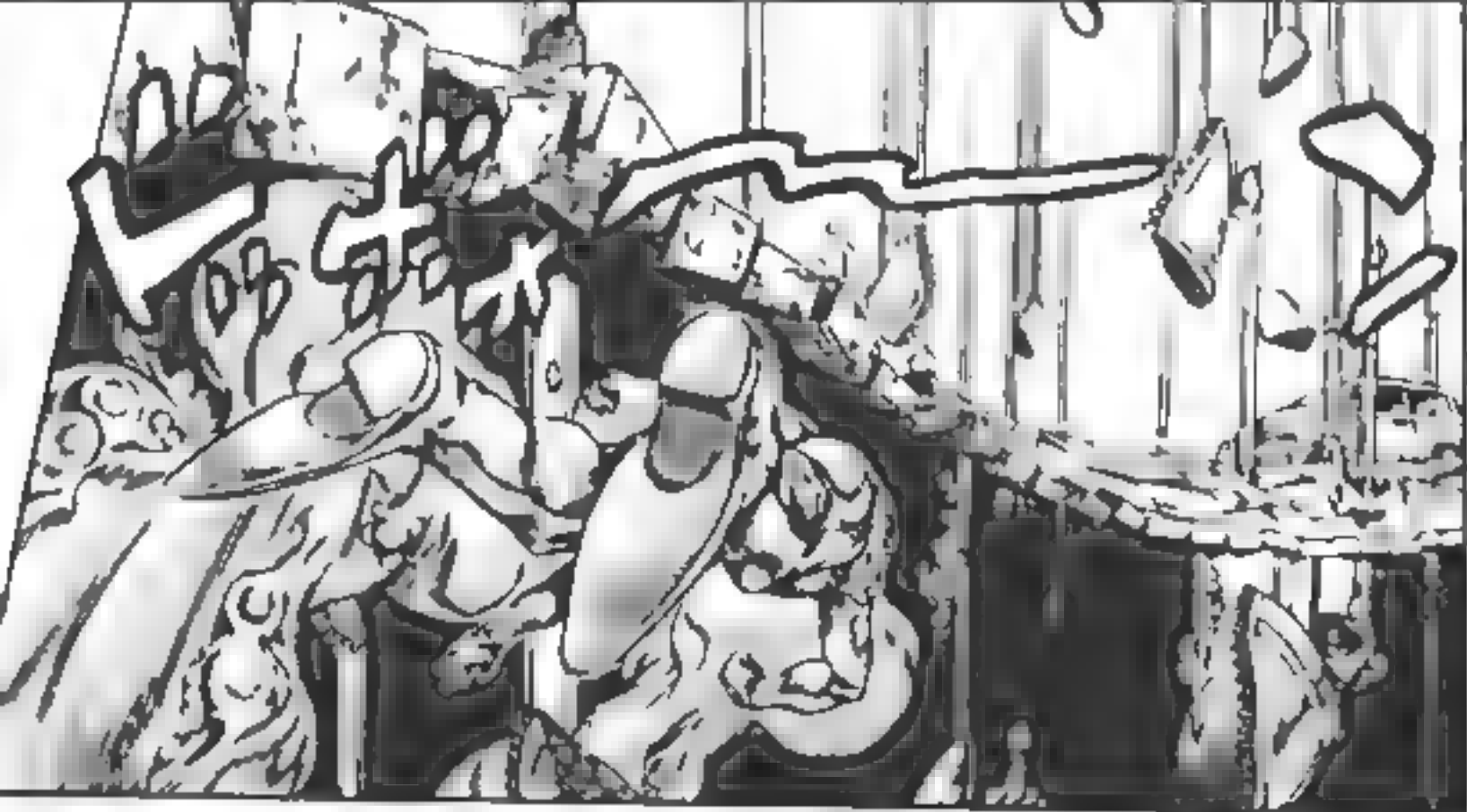
それができるのは
この自分ではない
「彼ら」だ……
12年前エジプトで
闘争のあと
手に入れた
この「矢」のもたらす
「恐怖」は――
「彼ら」が来なくては
終わる事はない
（フランス人）

スタンド名―「カメのスタンド」 本体―カメ(誰にも名前すらつけてもらっていない)		
破壊力―E	スピード―E	射程距離―E
持続力―A	精密動作性―E	成長性―E

能力―組織またはボスがみつけたスタンド能力を持つ亀。宝石がついた「鍵」が甲羅にはまるとスタンド能力を発現するよう訓練されたらしい。
その宝石が入口となって亀の中に特殊な空間ができ、人や物が中に入れる。中はホテルの部屋のよう。整備されていて、なぜか電気などもあり、TVや冷蔵庫も作動している。

A―超スゴイ　B―スゴイ　C―人間並　D―ニガテ　E―超ニガテ

皮肉なものだ…
ゴゴゴゴ
ゴゴ
ゴ
『グリーン・デイ』と『オアシス』その⑬

しかし結局のところ
このブチャラティは
ここまで登ってくる事ができるのか…?
「障害」とならなくては
なんの意味も持たない!
さもなくばこの「矢」は秘密と共に破壊されねばならない…
オレにできる事は………
それまでただ待つだけだ…
全ては………その後だ………
オレは……
今までもずっと……
待っていたのだからな…
ただ ひたすらこの矢の「真のパワー」を………
守ってな………

だ…だめだッ！限界だッ！

動いたッ！
たまらず動いたなッ！
移動音がよーく反響して聞こえるぞッ！
右方向
12メートルダッ
石柱の空隙をかわすためコロッセオの「地下」に
もぐり隠れるつもりだなああああ
ズバッ
ズバッ
ズバッ
ズバッ
そうは……
させるか……ッ

ズバッ
ズバッ
ズバッ
反響は捕えた！前方ヒダリ10メートル先だッ！

〃8メートル
スティッキィー・フィンガーズッ！

シッ!?
……
ドボン
ドボン
ドボン
ドボン
ドボン

キョロ
キョロ
なんか……よオオオオ
クヘッ
たくらんでると思ったがよ……オオオオ
ブチャラティ……
オメエが必死にやった事はこの程度の事かよ……

オレの
クビ
「オアシスの能力」から一時でも身を隠すことができたのは
オメエだけだが……
クヘヒホ……
もう終わりだ…さっきより近づいたすぐに見つけるさ
隠れれば──隠れるほどよォォォ
「敗北」がおまえに追いついていくのさあ
クヘロホハ……
!?
こ……
?!!
!?
ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ

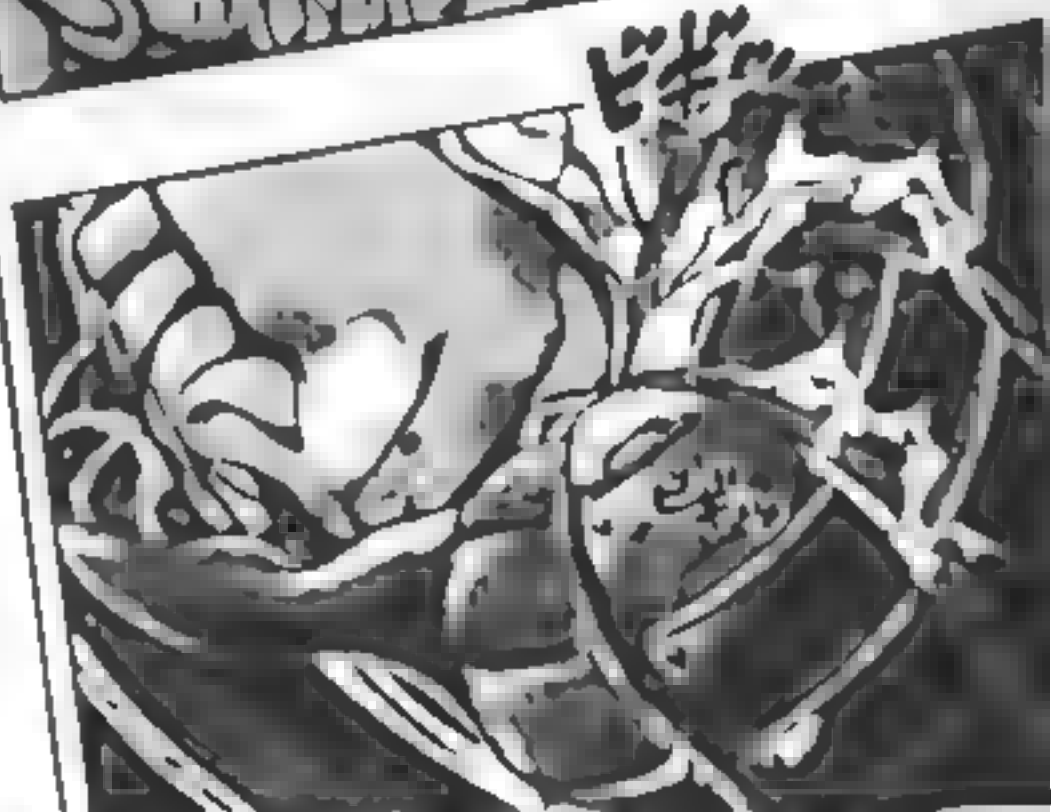
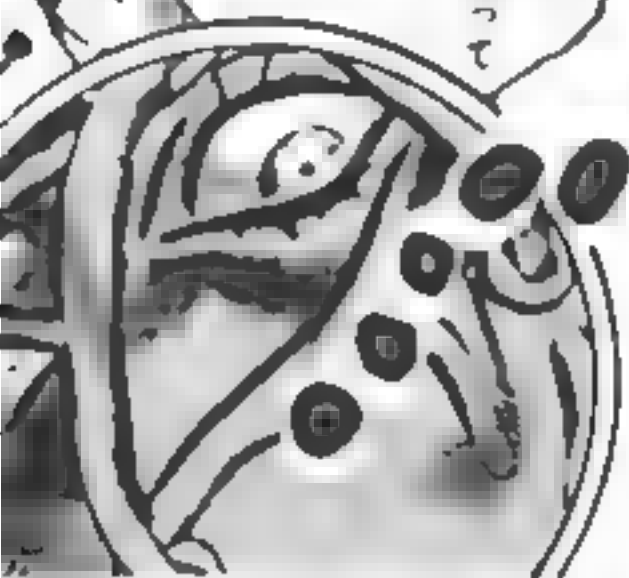
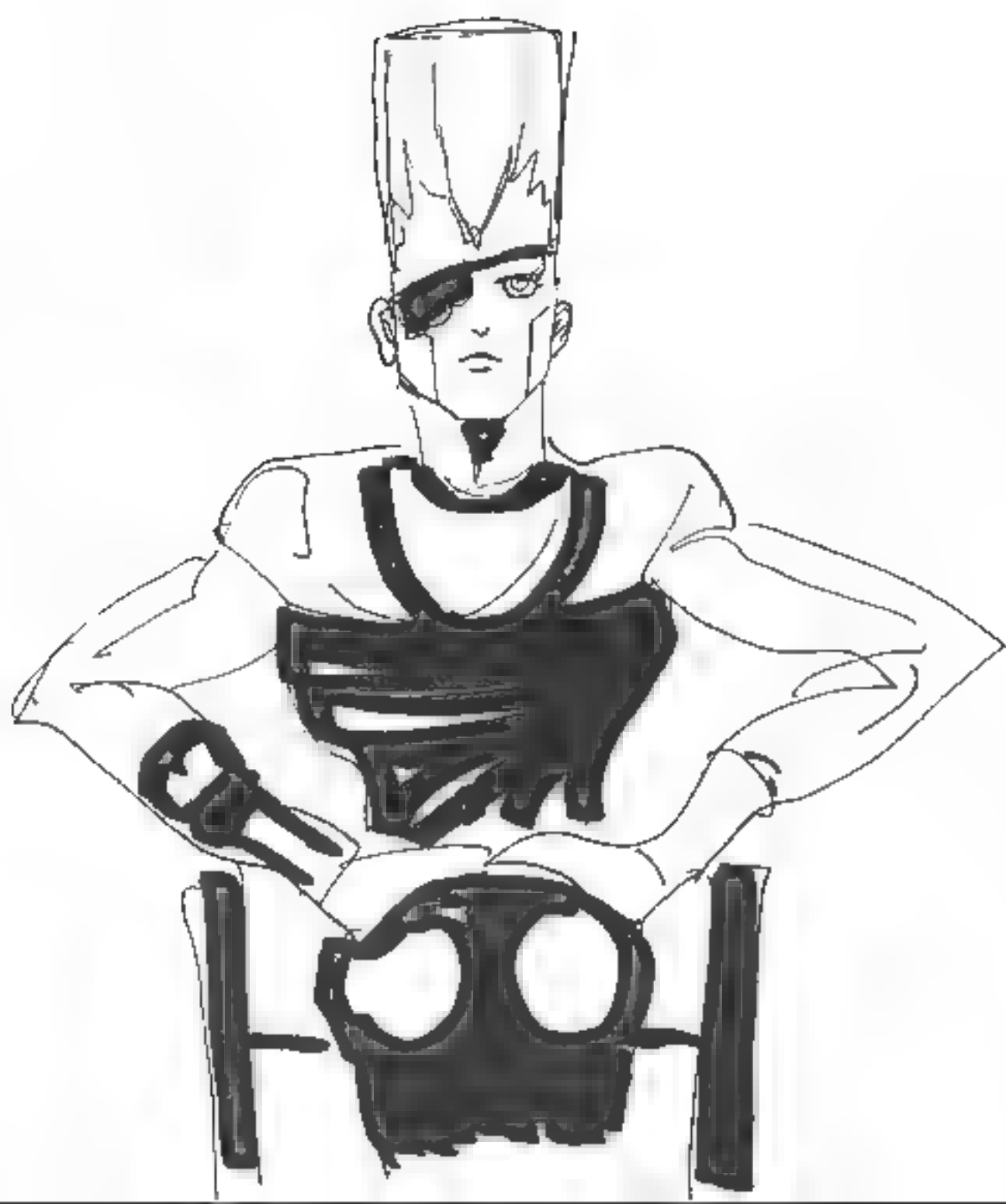
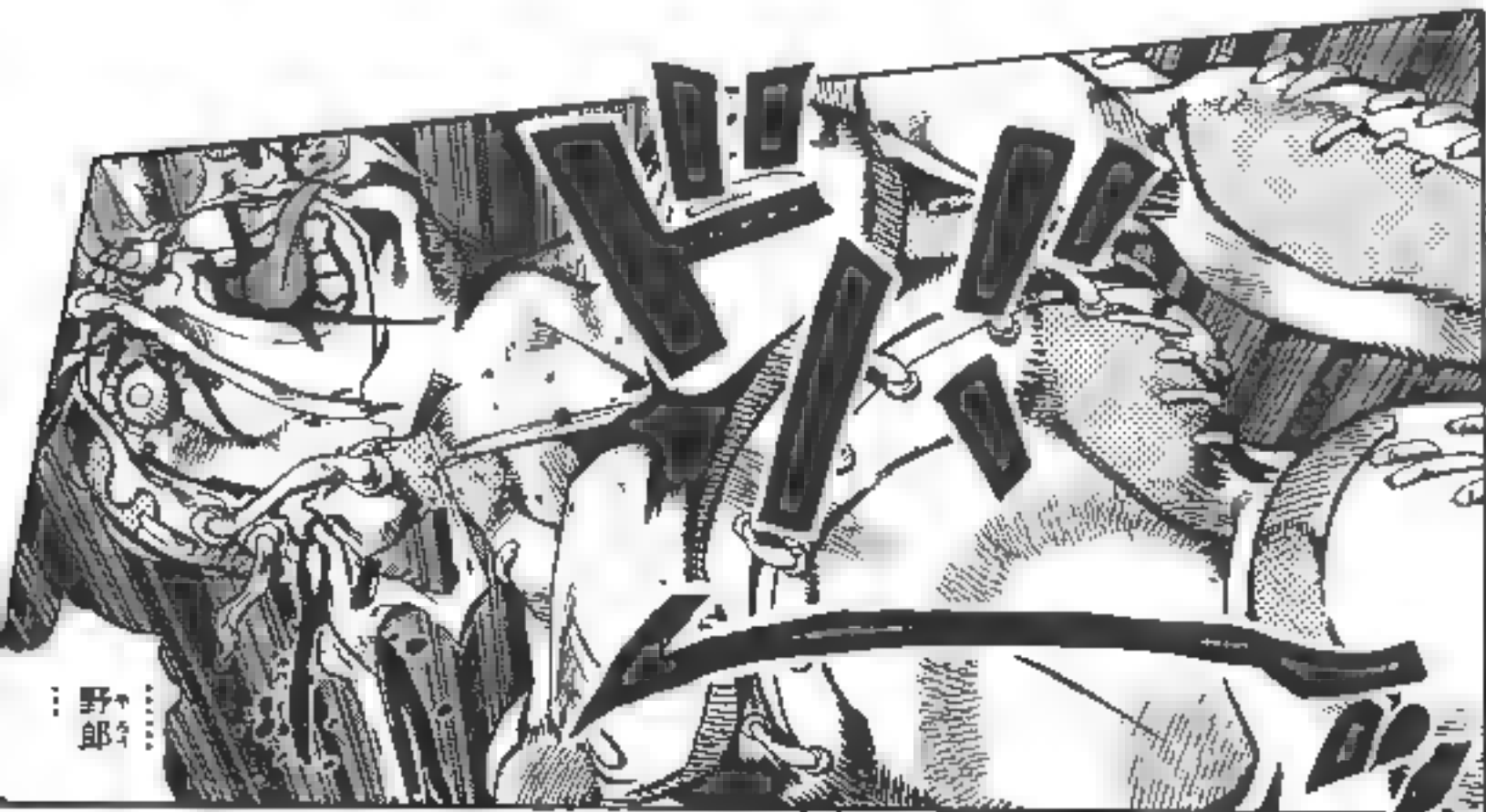
こ…
…これは
皮…
皮膚……が
ま…さか……!!

ドロ化してんだぜエエエエエエ
の肉体もよォオオオオオオオオ
聞こえたぜ
そこだアアアア――ッ

ドッ

完全に捕えたぜ…
よくわかる…
おまえまでの距離
1.5メートル
すでに
コロッセオに
登ってたのかよ
かなり
惜しかったなあああ
あああ

くらえッ！『秘密』はオレのものだ――ッ

なぜかはわからないんだこいつ自身もな
オレの体はもう骨折しても痛みがほとんどない血も止まっているから大量に出血もしない
ダメージが鈍くなっているんだだからオレはこれを持っていたきっと耳の鼓膜も骨折があっても大丈夫だろうな

ド
アアオ
バアアアアア

『グリーン・ディ』と『オアシス』その⑭

ぐがぎ……ぐげっ!!

や…やりやあ…かったな!

……だが……

大した事あああ……ねえッ!

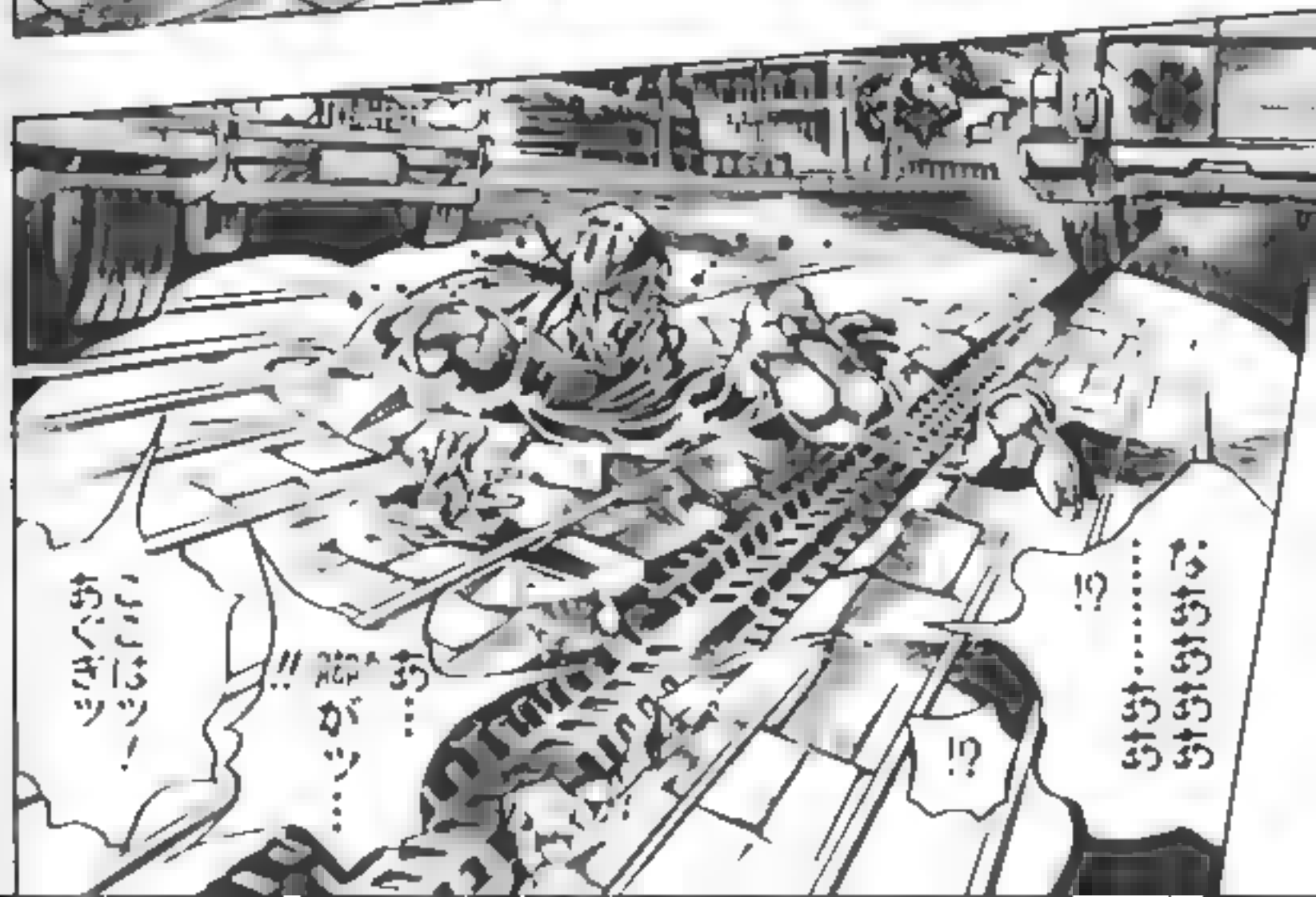
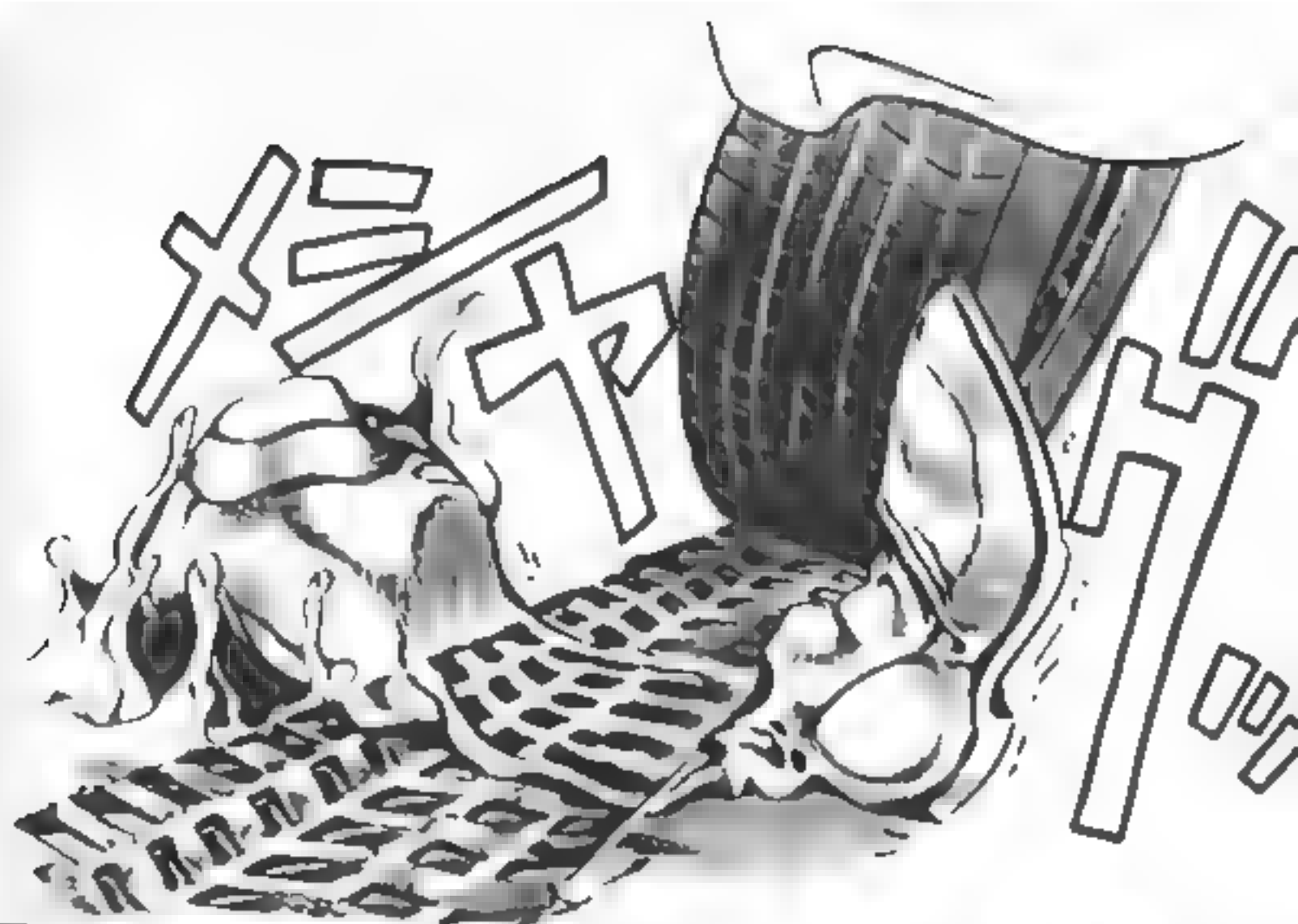
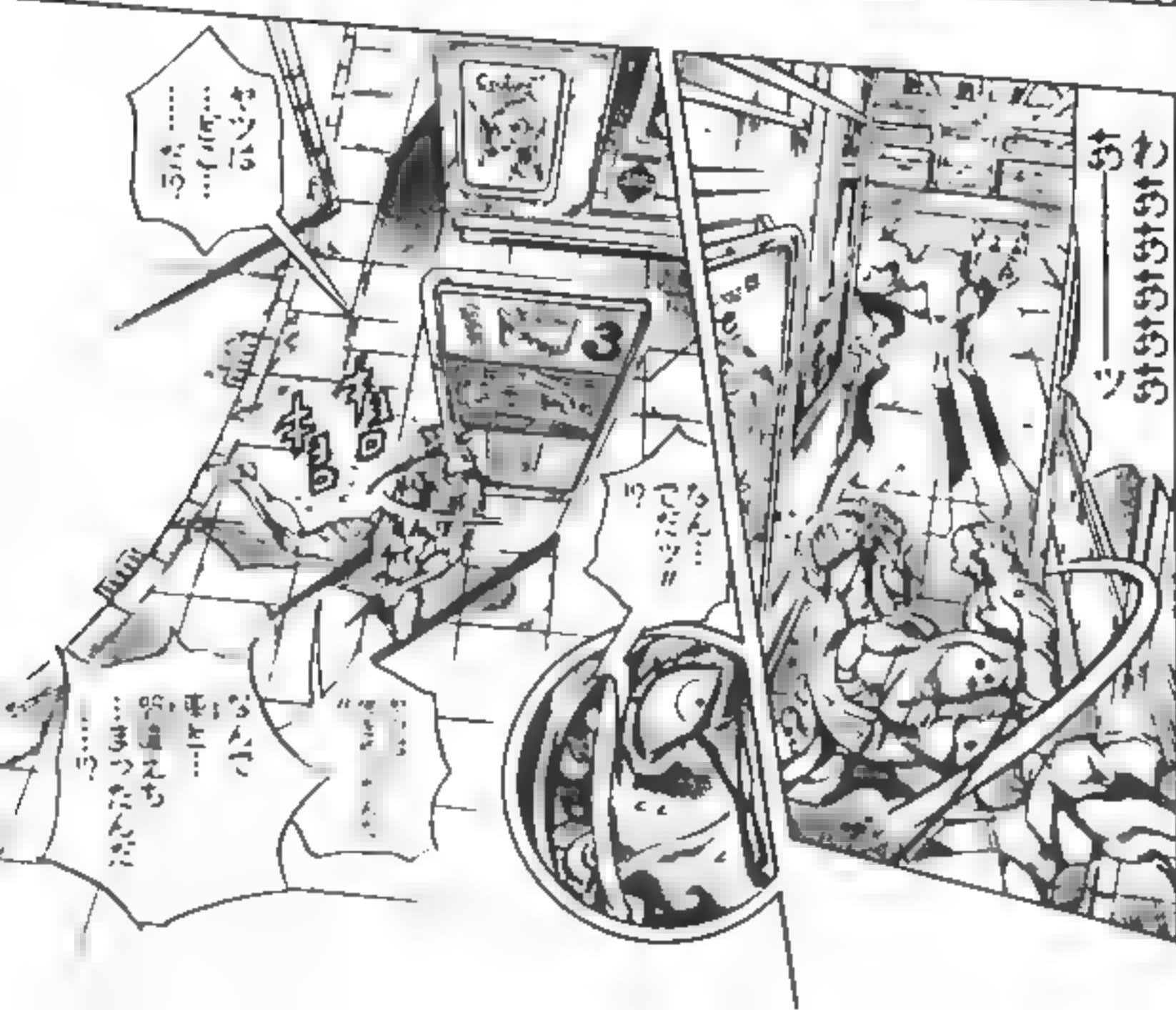
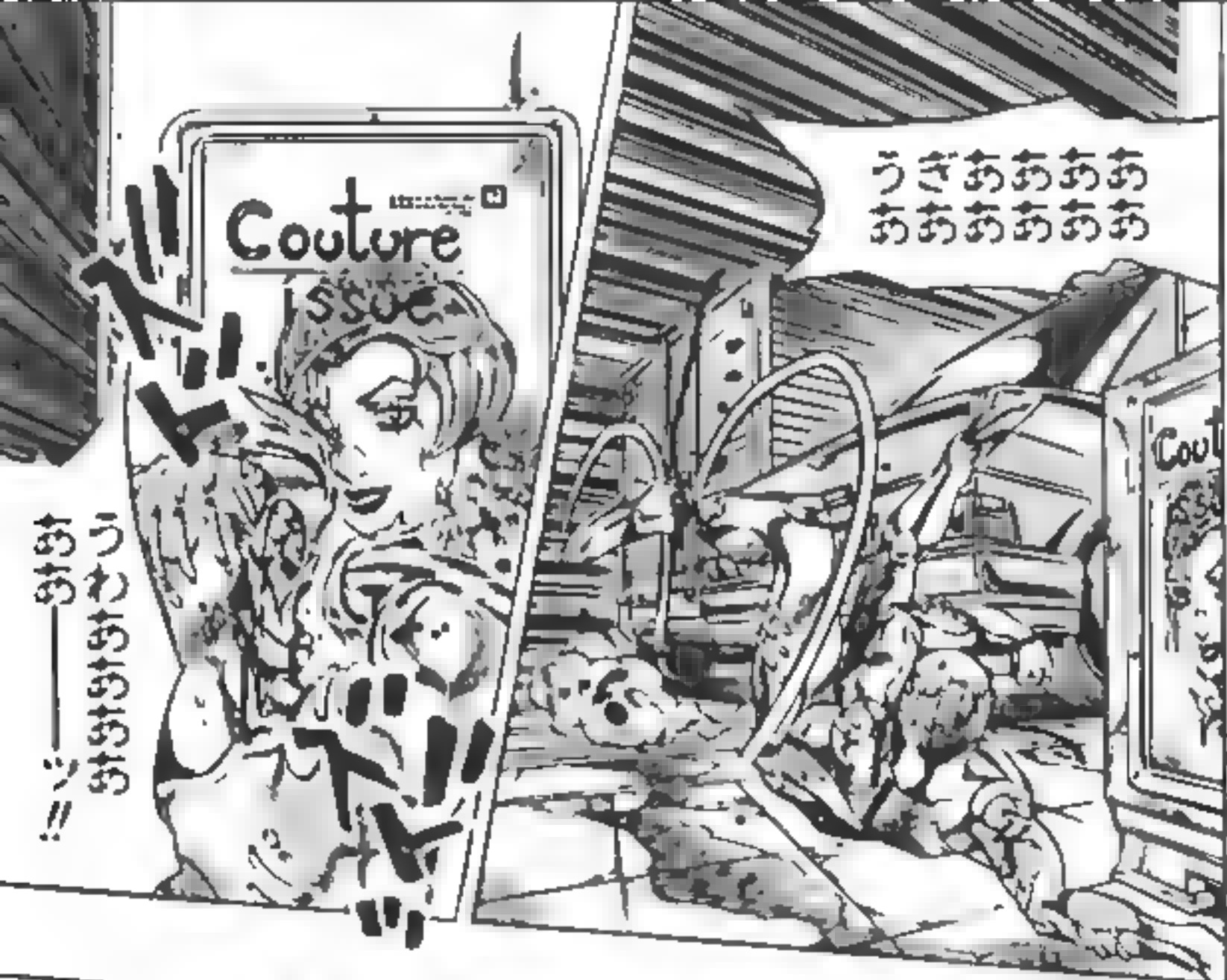
ちゃんと聞こえる……ぜッ!

今のパンクの音も ちゃんと聞こえたぜッ!

位置はわかるッ! そこだッ ブチャラティーーッ

メシャ
がッ!?
あ!!?
!?
なあああああ……ああ
!?
!?
あ……
がッ……
!!
ここはッ！
おくぎッ

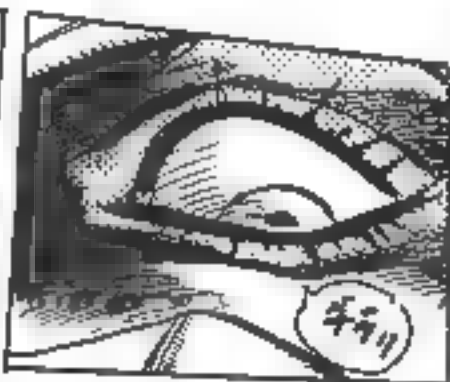
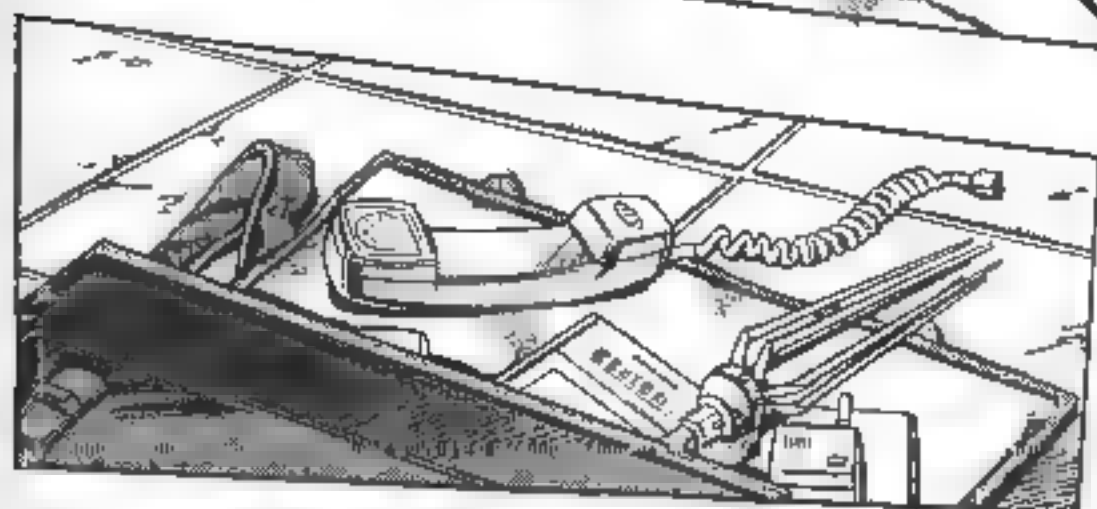
うぎああああああああああああ
Couture
うわあああああああ———ッ!!
あわあああああああ———ッ
なん…でだッ!! !?
ヤツは……どこ……だ!?
なんで東上……喰えちまったんだ……!?

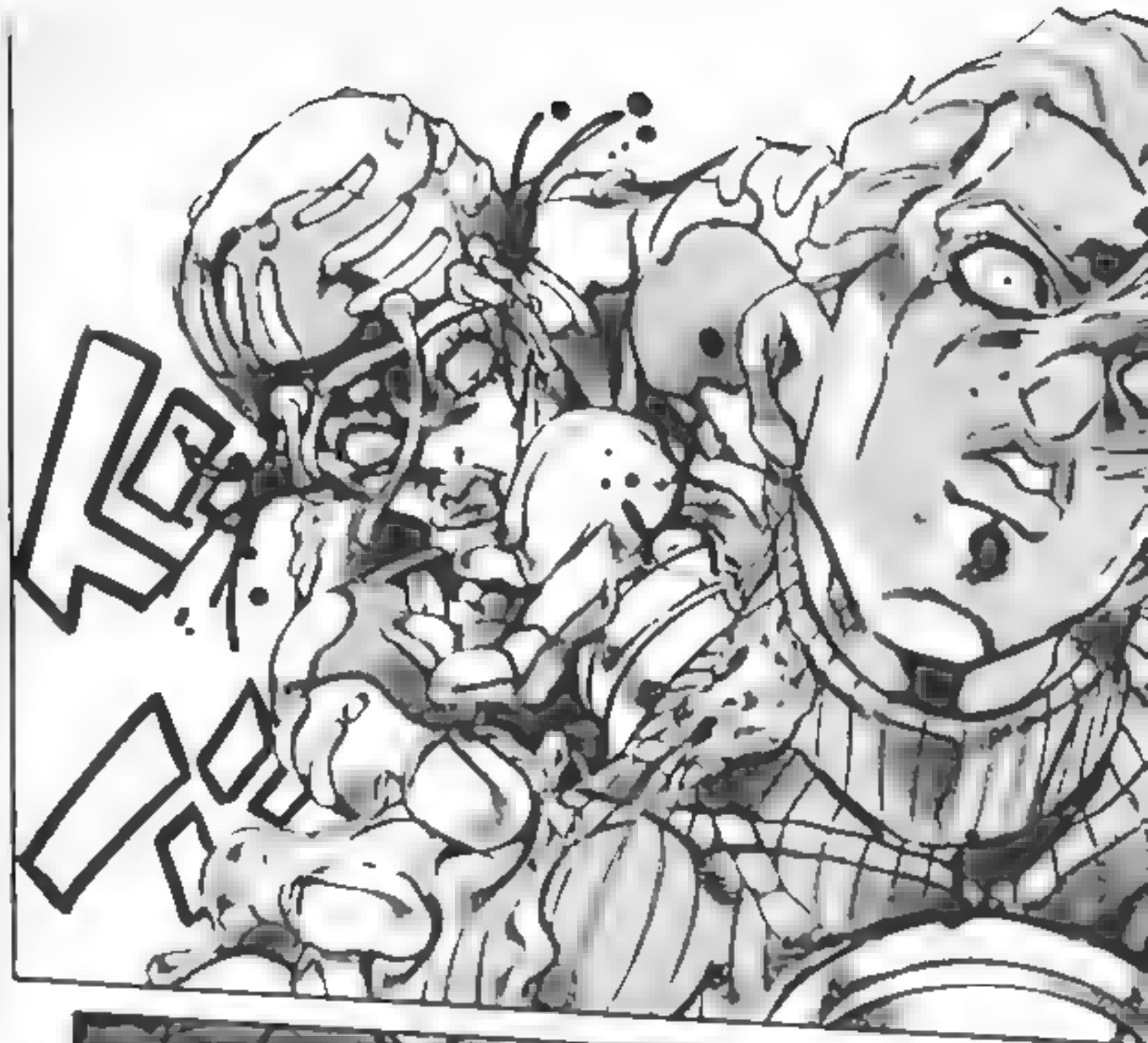
はッ！
おまえの鼓膜は破壊された……
ズグオォオオ
「地面下を進む」という…「オアシス」だったっけか……耳というレーダーを失ったその能力はもう役には立たない…

わかったぞ てめーッ
オレの「鼓膜」…を破ろうって気だなッ！
「耳」を失えば地下は進めねーと考えてるだろッ？くだらねー…考えだぜ！
来るな
オレに近づくん…じゃねエーッ
命までは取らない
だが「コロッセオの男」の事を知られたからにはこのまま逃がすわけにはいかない…
しばらく再起不能になってもらう…
てめ――このオレを再起不能にするつもりだなあぁ――ッ
そ……
そばに来るん…じゃねエ――ッ
もうしゃべるな 話がかみ合わねえ
よ…寄るなア〜〜〜ッ

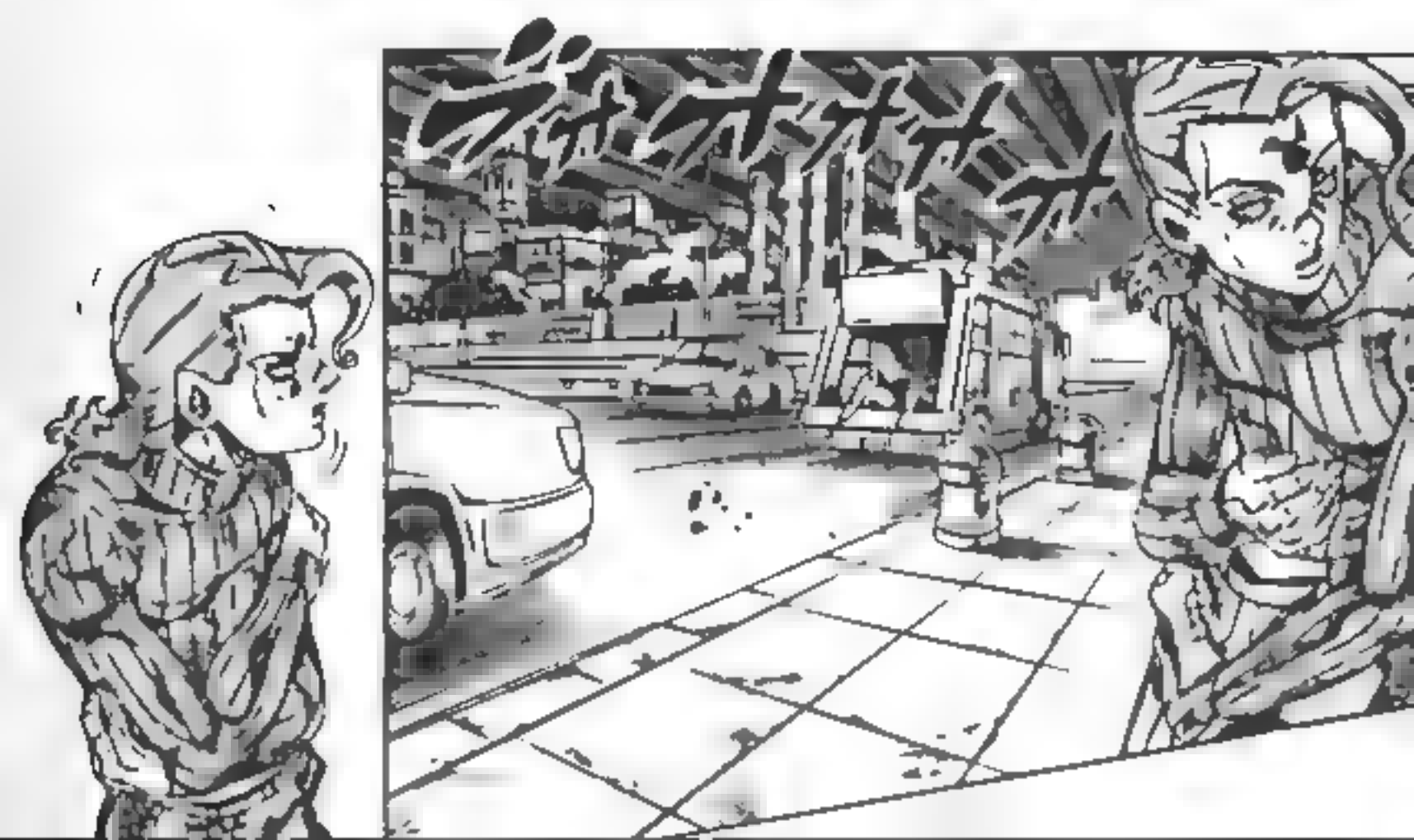
やったッ！
MAP
来るんじゃあねーーッ
ブチャラティッ！

それ以上 来ると
この一般人の小僧を
殺す事になるぞ
────ッ
イイトコ
来て
くれたぜ
ンヒイイイ
イイイ
────ッ
て… てめーが攻撃して来た瞬間！
オレはこの小僧をドロ化するッ！
それをオメーにぶつけて… 逃げるッ！
予定変更だッ
一時はボスを倒そーと思ったが
………！
組織に…… この事を
連絡して オレはボスから
褒美をもらうだけで
いいや！
おい小僧！
タク…
シー───
だッ！
子供を殺したくは
ねーだろッ
ボケ……!!
オレは…
やっぱり…
組織に…
つかえた方が
気楽でいい!!
手を…
あげて…
タクシーを
止めろッ！
おめーが
……………
止めるんだ!!

ギラリ
おい！聞こえてんのか……よッ!!
ガキがッ！
ドドドド
ドドドド
早く……タクシーを！止め………んだよォ――ッ!!

ドドド
S.P.Q.R

ブチャラティィィイイ
何動き出して……んだあああ——ッ
オレの言ってる事が聞こえてねーのかよォォォ——ッ!!
……

おめーの射程は
2メートル以内〃
間合いは十分
理解しているッ!
ミスって
脚を痛めたから
逃げられねーと
思ってんな!
ナメやがって
こいつは
殺すーッ

ケッ！やはりとどいてねーぞーーッ！射程の外だッ！
アホンダラがッ！手をかすっただけ…………

アッ!!
なにィイイイイーッ
しまった！オレのノドが……あぐえッ!! おごっ
シ…シッパーが……

予知するまでもない事だったが……『予測の画像』では……
ズシッ……

ブチャラティが……
ぼくのような子供を犠牲にする事は
ない事だった………
やばい
掃除しねーと
アギエッ
うぜーやブゲッ
燃えるゴミは
月水金

「セッコ」の携帯していた電話の電波を追跡してきたら ここへ来た
「チョコラート」も
そしてブチャラティはどうやら ここで・・・ひとりらしい
……
う
ぐっ
う
こ…

これは……体の……

「力」が……急に……まさか!!

目もかすんで来た……

まさか！「時間切れ」……か……!!

いずれ来るとは思っていたが……

こんな時に……

行かなくては!!
!
行く？
待てよ… 確かにこのブチャラティたちにも目的はあるはずだ 彼はどこに行こうとしているのだろうか…？ ボスはきっとそれを知りたがる
なんだ……
まだいたのか…単なるケンカだったんだ……
向こうへ行ってくれないか ケガをしたわけではないんだろ
えと
その…負傷してるのは
あなたのように見えるんですが…
救急車…呼びましょうか？
それともどこか具合でも…？
おいッ！
オレは向こうへ行けと言ったんだぜ……
家に帰れ!! …小僧

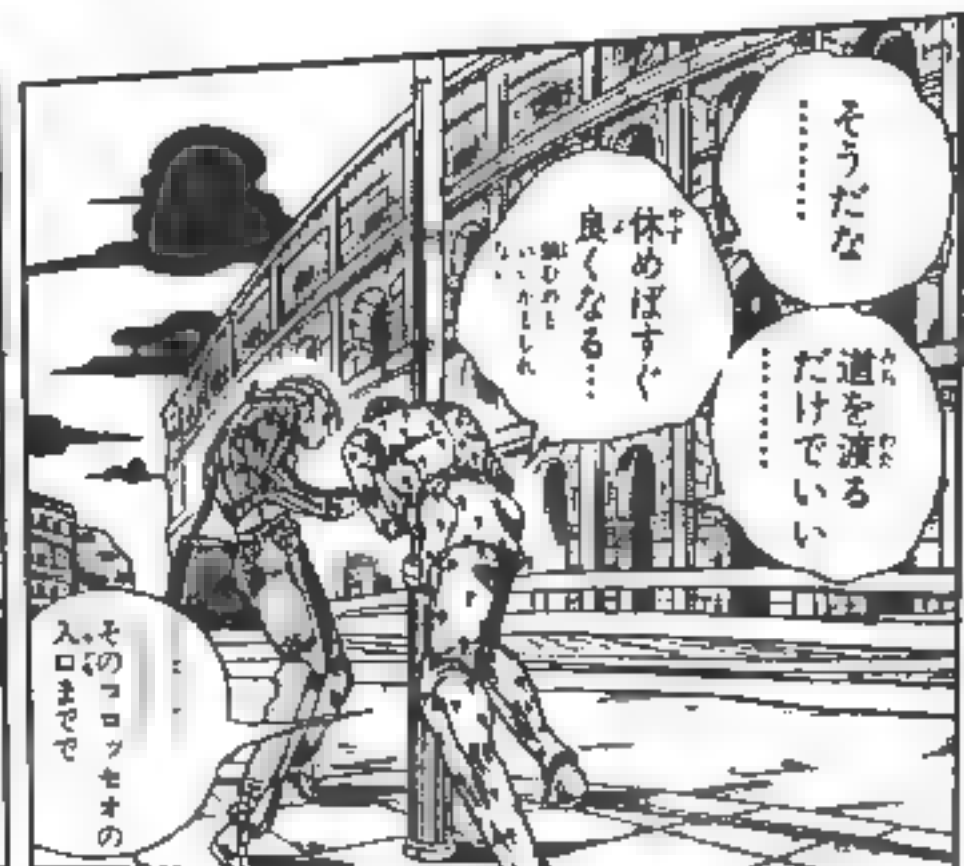
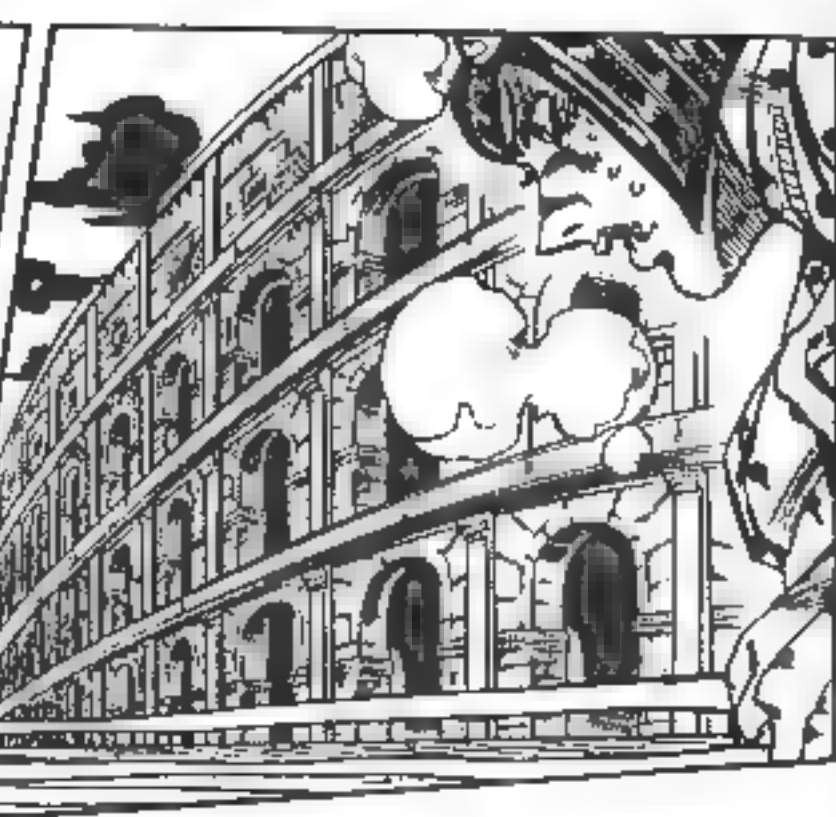
……良くなるかも
あの……
ぼくが手を貸しましょうか？ タクシーを止めるとか……肩を貸すとか
よけいな事かもしれませんが……
その道を渡るのはひと苦労かも
もし どこかへ行こうとしているのなら
気分が悪いだけなら少し休めば すぐに
もし……
えと
良かったらですけど
………
………

確かに……
少し休めばたぶん良くなる
いや…きっと

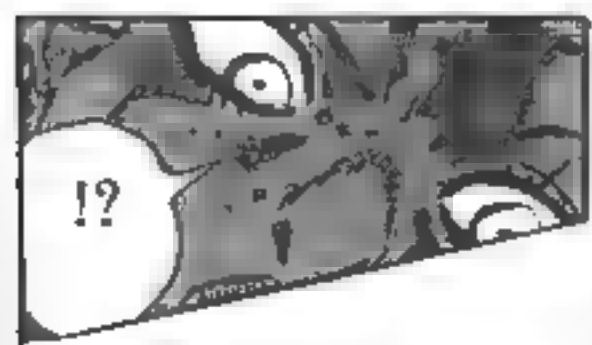
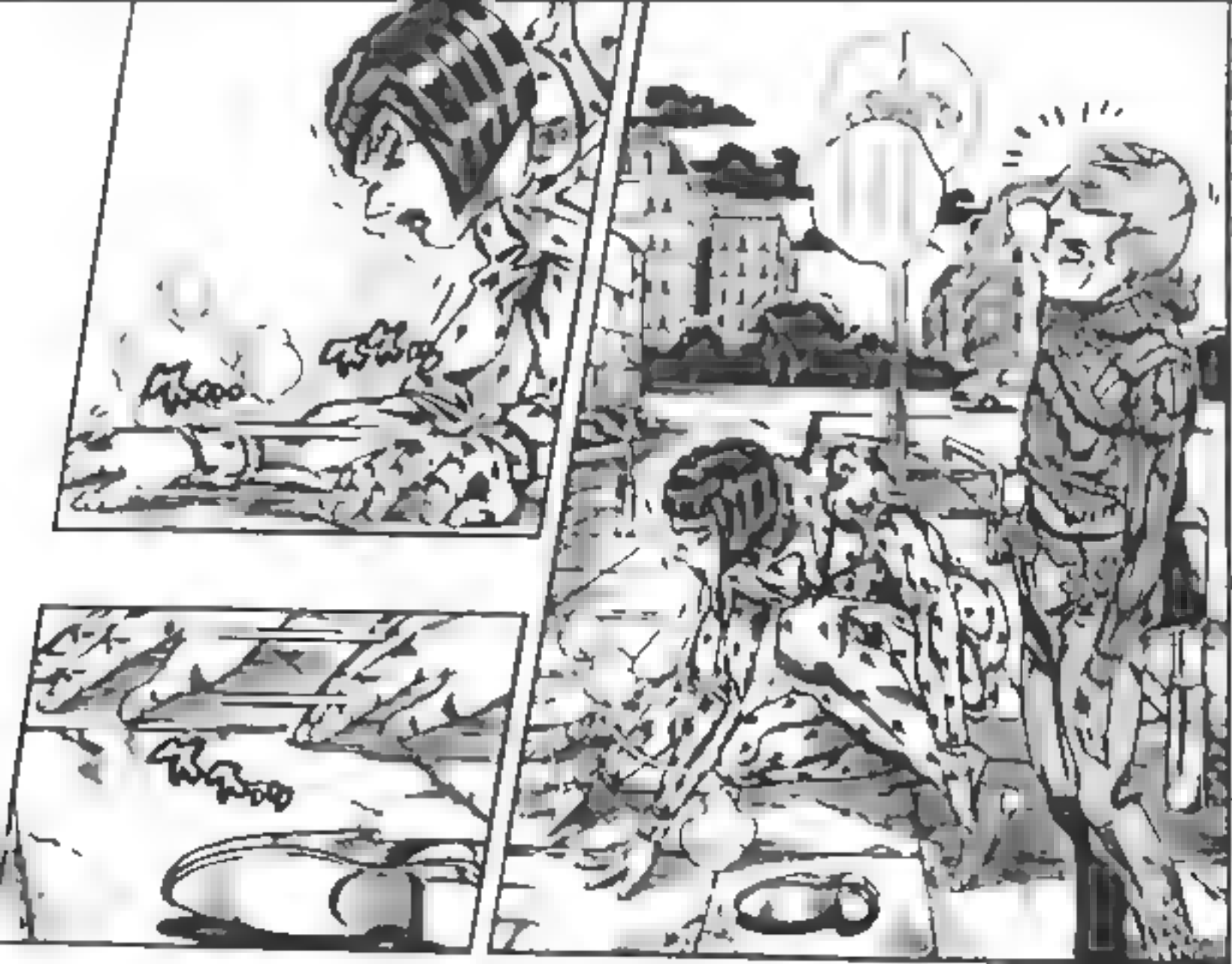
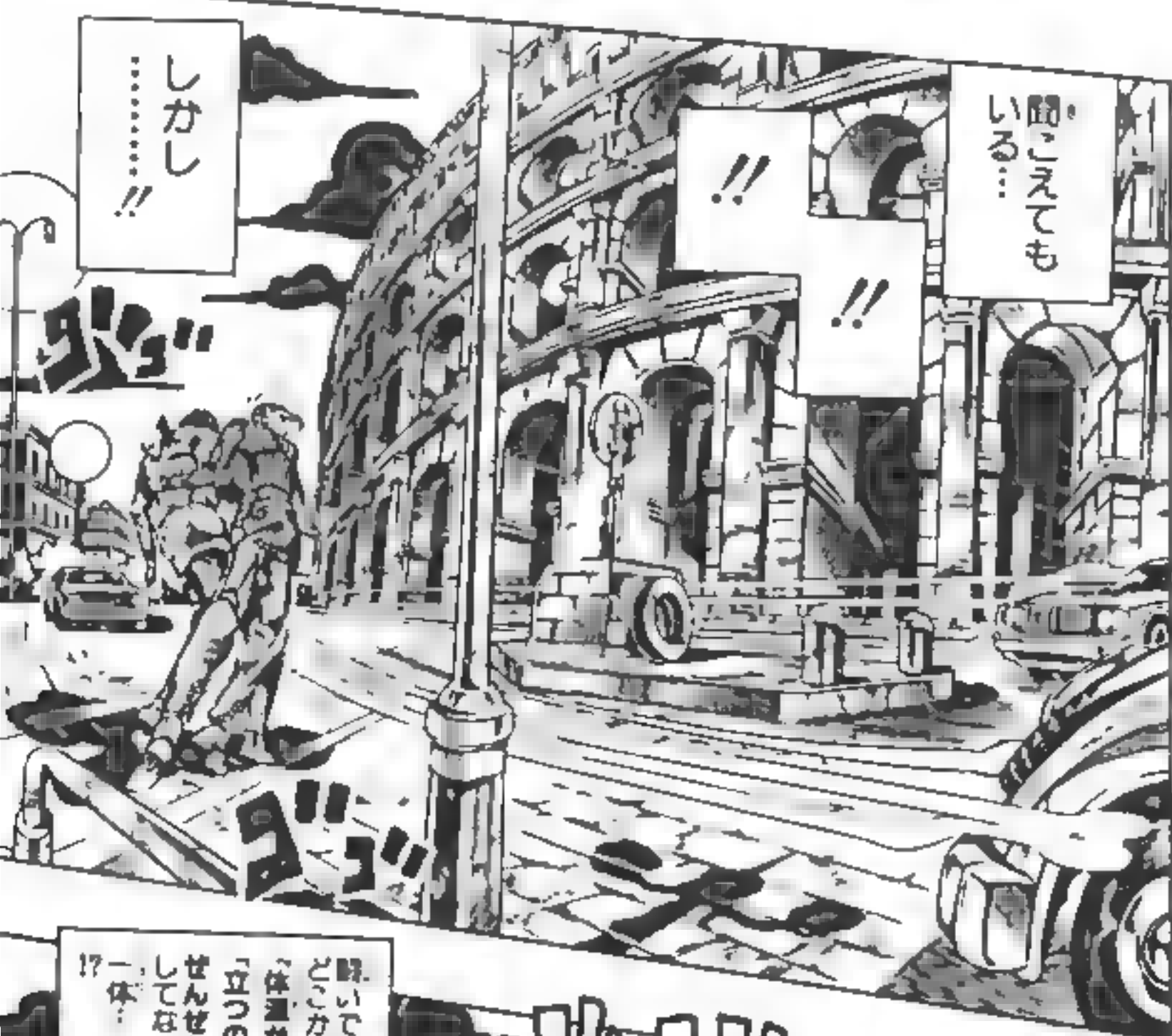
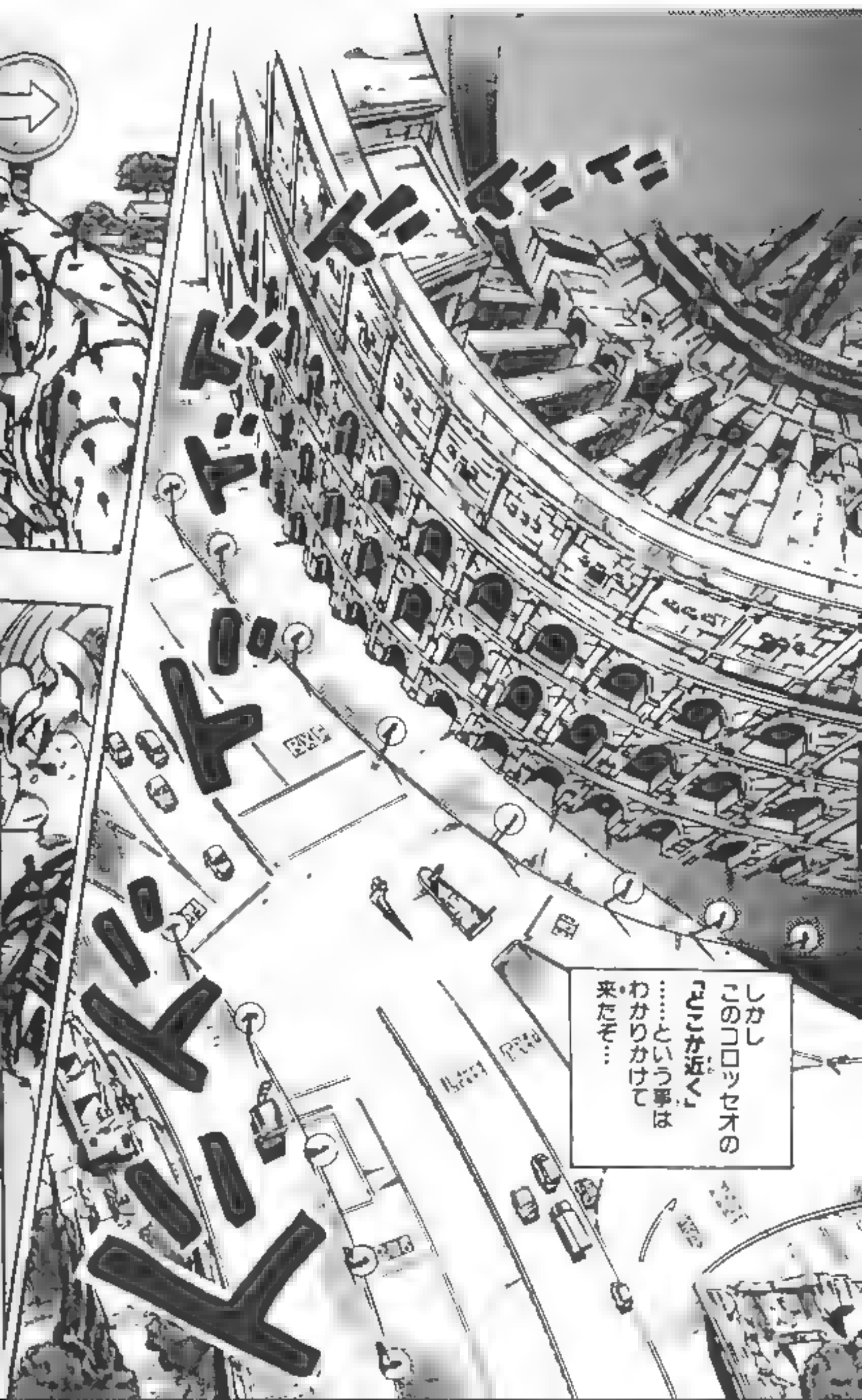
肩を貸すぐらい
おやすい御用ですよ

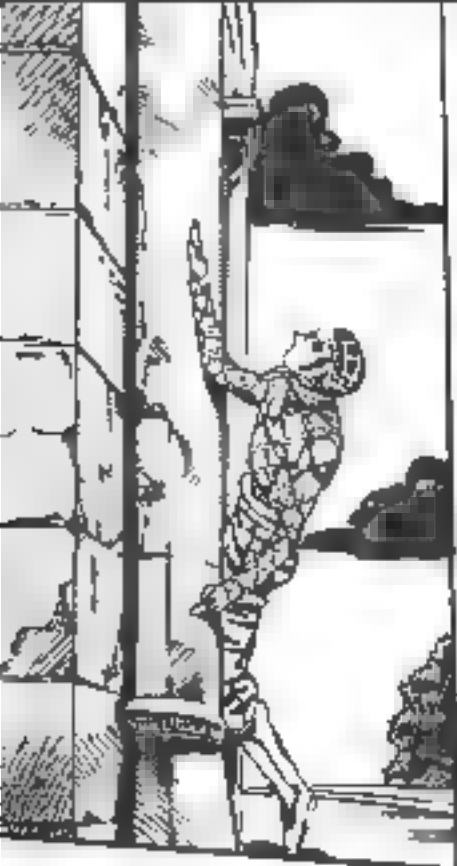
やっぱり肩を貸しましょう！
道を渡りたいのですか？

そうだな……
休めばすぐ良くなる……
……道を渡るだけでいい
そのコロッセオの入口までで

コロッセオの『入口』……
ですか……

そいつの名はディアボロ その①

酔っぱらいが――ッ
クソ野郎オオ――ッ
大丈夫ですかッ
!?どこ見ているんで……
この「手」……
なんだ…このブチャラティの手の「冷たさ」…は…!?
…まるで…
!?
これはガードレール……
ぶつかったのか？
つい あわてて しまって…
すまない
!?

その喉のキズは……
君 まさかさっきので負傷したんじゃあ？
え？
いや！
よく見ると それは今朝か昨晩つけたキズだ 血は止まっている
ヒゲ剃かい？ 不自然なところを負傷したね……
すまない… ありがとう
くつ… 拾ってくれて……
道を渡るだけでいい…
ただ渡っただけなんだ
あの車が通りすぎたら渡りたい
見えてる……!!
しっかりと……
僕の眼だぞ 鋭く見てる ぼくが「リゾット」から攻撃されたキズまで

聞こえてもいる…
!!
!!
しかし……!!
何かわからないがこのブチャラティ……
闘いで負傷しただけにしてはどこかおかしい…
「体温が異常に低すぎる」
「立つのもやっとだというのにぜんぜん呼吸が乱れていない」
してないみたいに…
一体… どういう事なのだ!?
もっとも今!
このブチャラティの目的地はどこなのか…
それをなんとか知る方が大切な事だが…

しかし このコロッセオの「どこか近く」……という事は わかりかけて来たぞ…

……！
ッな!!
あ…
あいつは…
ッ!!

『グイード・ミスタッ！』
『たしか拳銃使いの……!!』
!?
!!
見られたか？
いや……！コロッセオを見上げていた……
このブチャラティから目的地をなんとか聞きだそうとしてノンビリしすぎた…
ヤツがやって来るのは当然の事……!!

どうかしたのか？まだ塗り終わってないぞ
いいえ その
すみません 喉のキズか
ちょっと血が飛んじゃったみたいで いえ あの
あなたのせいじゃあないんです 大した事はないみたいだし
ミスタ…
ひとりか？
いや… 近くにナランチャとジョルノもいるはず……
どうする？
「ボス」なら「ここでブチャラティを始末しろ」というかもしれない…
でも今… ここでブチャラティを攻撃したらぼくはまちがいなくミスタにみつかる
そしてもし「目的」が人と会う事ならそいつはきっと姿を消す
ミスタがこっちに向かってくるぞ！

勝手な事を言うが急いでる
早く道を渡りたいんだ……
えーッ
あ…その!!
立たせてくれ…

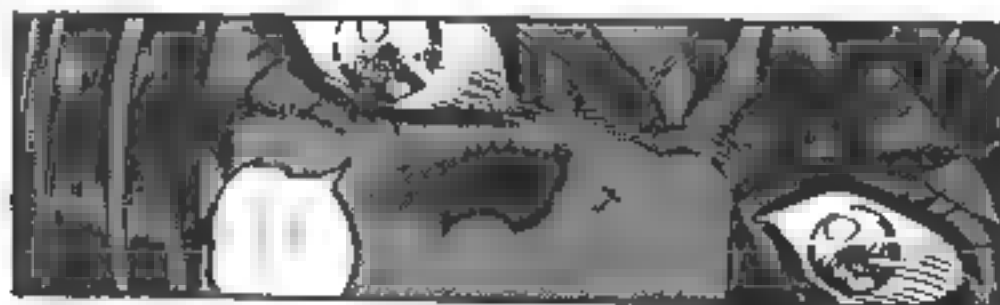
だめだーーッ
立つんじゃあないッ!!

え
いえ
また
く…車が来ます
あれが行ってから渡りましょう
いや あれは反対車線だ すぐに渡れる

さあ…渡らしてくれッ!
だ…だめだ……
ミスタが来るッ!
始末するしかない……
ここで──っ
こいつをッ!

!?
え
お
おや
な
なんの音だろうっ 今のは？
？
何やってんだ？ おまえ？
急に何を言っているんだ？
こんな時に…なぜ…電話を…
バレちまうじゃあないか

トォーーーーーーーーゥウウウウーノノ
おまえは⁉
ザケてんじゃあねーぞッ‼
なんでこんな時に電話してくんだああああああッ‼
バレちまってもいいのかあああ

キレるなドッピオ……
よくやったぞ おまえは手柄をたてたのだ！
さすがわたしの信頼する…
第一の部下だ…
おまえはバレはしない……
おまえがそれをつきとめたのだ……
そしておまえが解決したのだ！
いいか よく聞けドッピオ…
ブチャラティのヤツは今…おまえを見てはいるが…
決しておまえは見えてはいないッ！
何故こうなったのはわからないが

ブチャラティはすでに「死体」なのだ!!
さわった時冷たいのは そういう事なのだッ!
呼吸もしていないし脈拍も止まっている……ヴェネツィアの時からな
目も見えていなければすでにセッコの闘いで鼓膜も破れている!
何言ってんのかわからないよッ!
動いているしヤツは見えてるってッ
今! ヤツが見ているのはドッピオ!!
『魂の形』を見てるにすぎない!!
聞いているのは『魂のエネルギー』を聞いているだけだ!!
ガードレールのような物質はすでに見えてはいないしクラクションも聞こえてはいない……
だからつまずいたのだ
車も運転手だけ見ている
幽霊と同じだ……

ヤツが今見ているのは「生命エネルギー」の「形」だけを感じているにすぎないッ!
だ
?
トリッシュ!?
まだ外には出るな
危険は去ったとは言えないッ!亀の中に戻るんだ!!
違うの!来てるのよッ!!
あいつがッ!急に今ッ!出て来たのッ!またあの感覚ッ!
サルディニアの時と同じ感覚
感じるわッ!近くにいるッ!
ボスが近くに来ているわッ!
ドドドドドド

なんだ？トリッシュ!!
そこにいるのは……
君か？
君なのか？
そこにいるのは!?

ドドドドドドド
トリッシュ！……………
君かッ！
無事に着いたんだなッ！

わたしと
娘は「魂の形」において
似た「におい」を持つッ！
今 その部分だけを
おまえらに与えたッ!!
ブチャラティの
見ているものは
娘の形だけだッ！
案内させるのだ
このままブチャラティが！
何を目的としているのか
案内させるのだッ！

近くにいるだと!?
まさかこのコロッセオの事がバレてるのかッ!
トリッシュ!? その感覚…どこか位置はわからないのか!!?
急に現われたの! そして動いているわ
どこか近くを!!
どこかわからないッ! でも移動しているのよッ!!
まずいぞ コロッセオは広い。周524メートルもある
しかも「約束の男」は向こうからオレたちを見つけると言っている…どこを探していいかわからないッ!!

奇妙な事実だが
1967年の夏
男の赤んぼうが
国内の女子刑務所内で
出産された

母親は
銀行強盗傷害の罪で
実刑10年のうち
すでに2年の服役中だった

ほんの少し昔の物語

母親は
「父親はすでに病死している。
妊娠したのは2年以上前だ」
といい張った……
そんな人間がどこにいる？

当然 誰も信じなかったが
その刑務所は
男はひとりもいない
看守も全て女性だ
原因はついにミステリーとなった

藪の中で言う
フジツボの話の
方がまだ
真実味がある

刑務所で赤んぼうは
育てられない
母親の故郷の
サルディニア島の小さな村の
神父が 彼を育てることを
引き受けた

成長すると
少年は臆病で
どんくさいヤツとの評判が
村で立ち……
神父もそう感じた

でも性格は
さっぱりとしていて

将来は彼が神父ではなく
船乗りになりたいと
言った時は　神父はそれが
一番ぴったりなのだなと
そう思った

1986年　19歳
少年というより
もはや　大人だった

ある日……　神父は
息子同然の彼がエメラルド海岸で
女の子とデートしているのを見ると
彼のために車を買ってやっても
いいと思い

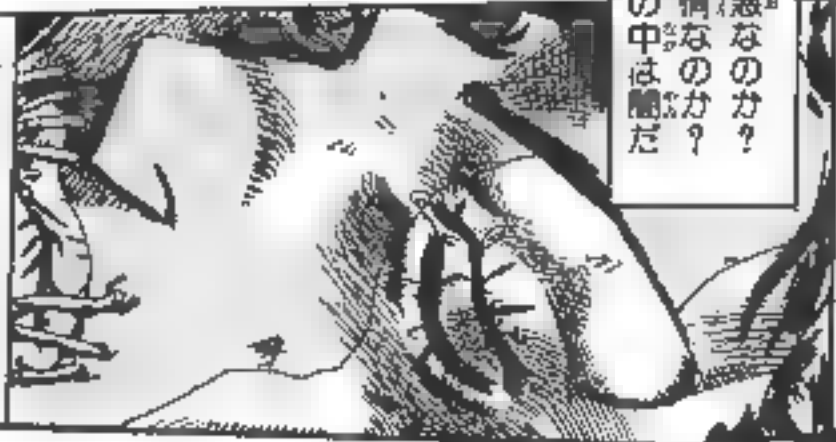
彼の部屋の隣に
ガレージを増築
するため
神父は床下を
ツルハシで掘った

コンクリートの
破片とともに
出て来たものがあった

生きている……

身動きはできず声も出せないように……

何年ぐらいたっているのか……？
彼女には時の感覚はなかった…

憎悪なのか？
愛情なのか？
心の中は闇だ

生かされていたのは少年の母親だった

その夜 村は大火事に見舞われ強風が村の家々を焼き払った

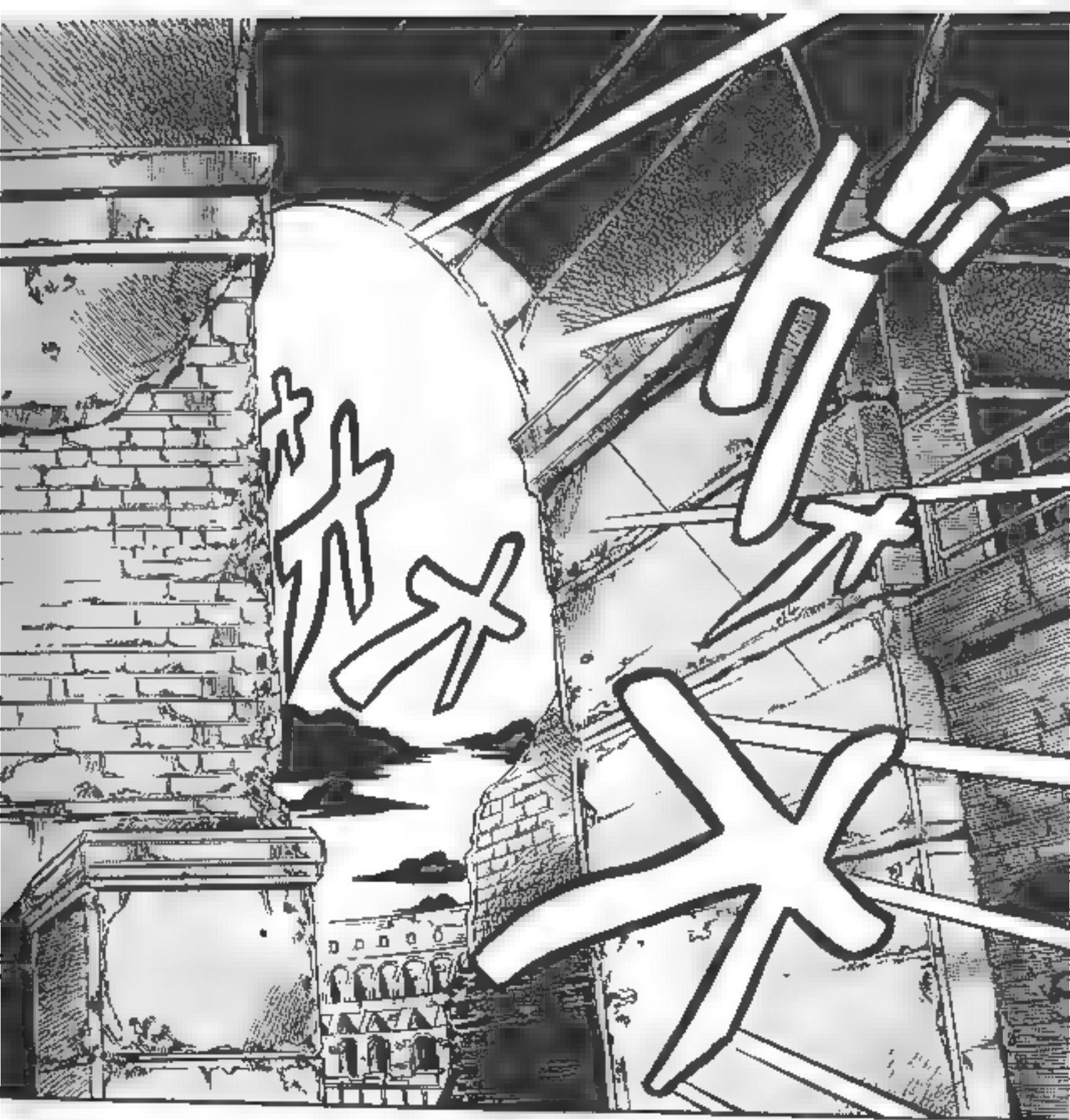
原因は不明
死者数7名
身元不明者もいた

そして死者名簿の中には……

神父とその息子の名も入っていた……

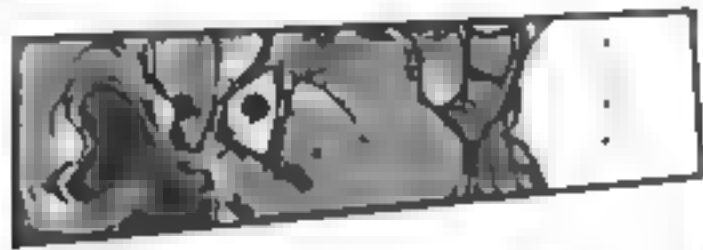
息子の名は……
『ディアボロ』と言った

故郷の郊外に……
トリッシュ…
小さいが家を持っているんだ
全てが……終わ……って
もしいくところがないのなら…

ほんの少し昔の物語
そこに住むといい…
近所には…学校もあるし…いいレストランもある…海辺も近いんだ…
君には過酷な事がたくさん起こったが新しい人生を楽しむ事ができるだろう…

ありがとう……
でもそんなことより……
次はどっちへ
向かえばいいの？
階段を……登るんだ
上？
ふり向くんじゃあないッ！ドッピオッ！
顔をそのまま下に向けろッ！
そのままだッ！
そのまま……背中を向けたまま気づかないふりをしろッ！
誰かいるッ！上階の石壁の陰だッ！
何者かがおまえを見ている！

ゴゴゴゴ
ゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ
やはり…目的とは「何者」かと会う事だったようだな………
しかし…何者だ？心あたりがまったくない…
ボボス なんでいるってわかるんですか？
しかも…いるとしても…ふり向いて顔みなきゃあ誰かわかりませんよ…
上階のヤツに十分近づくまでだ
「キング・クリムゾン」の射程距離まで な………
ブチャラティの瞳を見ろ…それでわかる…瞳に…今映っているぞ！

止まれッ
そこで止まるんだ!!
ドドドドド
一歩でも
そこの階段を登ったら
約束は消える
事になるッ！
ドドドド

本当だッ！いたッ！石柱の影の中にいる!!
オレの名はブローノ・ブチャラティ！
・・・
わかっている
追っ手との戦闘に勝利したのは良かった しかしこのオレが用心深くなることは理解してもらいたい…
でも暗くてハッキリ見えないッ！何者かここからじゃあわからないよ！
ドッピオ！正体を十分知ってから攻撃しないと逃げられるおそれがあるッ!! なんとかして近づけッ！
君の陰にいる人物は誰だッ!? オレの持っているデータには記録がどこにもないッ!!

トリッシュ？まるで女みたいな名だな？

！！

みたい？

……

落ちつけッ！だから背を向けてろ！と言ったのだ…
いいか… すぐ言えよ こう言うのだ

まずいよ！近づく前にバレちまうぞボスッ！

女で悪い事でも何かあるのか？言え ドッピオ…！
女で悪い事でも何かあるのか？
よけいな事を言っちまったかな
暗くて良く見えなかった…
彼女はスタンド使いなのか
そうだ…！
もういいだろう!?
それよりあんたこそ何者なのだッ!?
さっそく本題に入ってもらいたい！
いや まだだ
用心深いと言っただろう
スタンドが見たい そうすれば安心する トリッシュ！

動きはゆっくりだ！その位置で見せてもらえば
彼女のデータはないが…信用する……
ボ…ボス!!
マジに何者だ……!?戦闘経験の豊富なヤツだ……
スタンドの間合いを確実に計算に入れている…一体誰だ全く心あたりがないッ！

どうした!? その位置で出して見せろッ！
スカートをまくるように ゆっくり動くんだ
あれは…あのキラリと光ったものは…まさか…!!
ボス・どうしたんです！
あれは「矢」か？……なんで持ってるんだッ!? ひとりいる「心あたり」か…!!
しかし バカなッ！ あの男はッ！
ゴゴゴゴ

ヤツは殺したはずのッ！

1986年
──15年前──
「矢」はエジプトの砂の下にあった…

ひとりの19歳になる少年というにはもう大人になる男が…
偶然それを掘りおこした

「矢」は全部で6本あったと目撃者は言う……

彼は金がほしくて遺跡の発掘のバイトに参加していた…

彼の素性は謎だ…
名前も国籍も全てウソを語っていたと思われる…

翌日 青年はその「矢」とともに姿を消した

盗んで逃げたのだ

6本の矢のうち5本は…
両手とも右手という
「エンヤ」という名の老婆に
青年は高価な額で
売りさばいた

残りの1本は
青年が持って
いるらしかった

なぜこの事実が
浮上して来たのか
……?

1990年代になって
2人の男が発掘された
「矢」の追跡を始めた

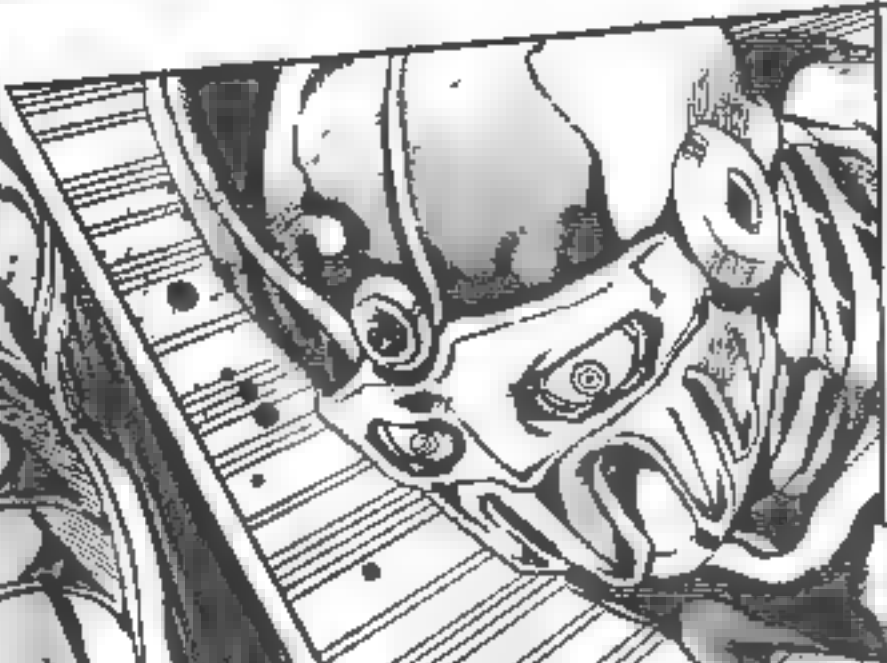
ひとりは日本人で
名を空条承太郎といい……

もうひとりは
フランス人の
J・P・ポルナレフといった

「矢」は人を選び
選んだ者を
磁力のように
ひきつける…

2人のうちのひとり…
「J・P・ポルナレフ」は
青年のもち出した「矢」が
ヨーロッパにあることを
つきとめた

自分の育った場所の
犯罪の統計が
「1986年」を境に
急激に伸びてることと

特に少年少女の麻薬犯罪とその死者が20倍以上になった事から犯罪組織を調べ核心まで近づいたのだッ！
しかし その時ポルナレフは2つのミスを冒していた
その犯罪組織はすでにあまりにも完璧に構築された組織になっていたのだ
ポルナレフはもうひとりの追跡者空条承太郎を日本から呼ぶことができなかった
電話 郵便 交通 マスコミ 警察 政治… この社会全てが彼を孤立させた
ボスの正体をつかんでおきながら…ポルナレフが犯した2つめの最も大きな過ちは……!!

「矢」を発掘した青年の能力ガ!!
「シルバーチャリオッツ!」
「キング・クリムゾン」を見た者はすでに
その「時」……
ポルナレフの想像をはるかに邪悪に超えている事だったッ!

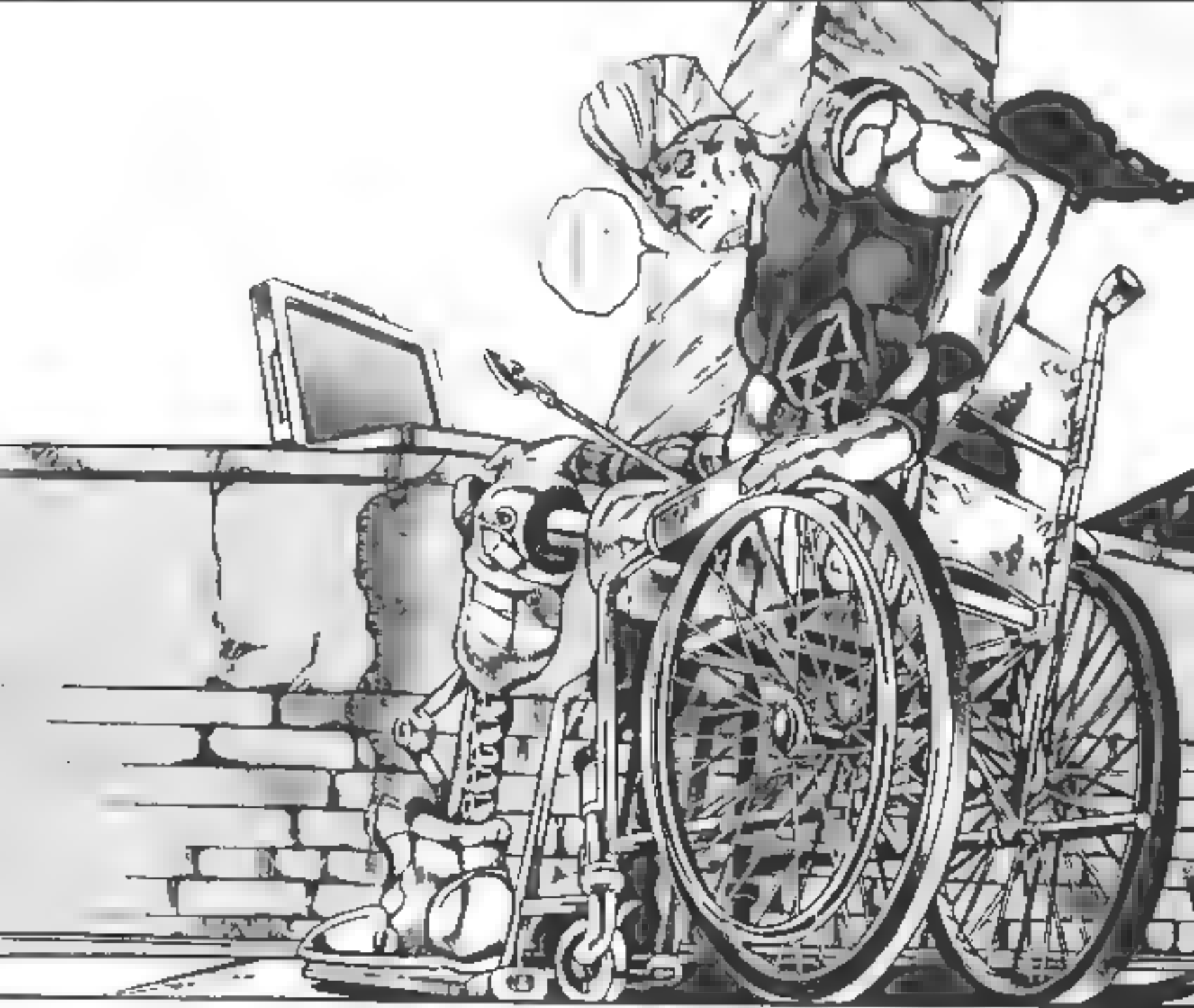
この……
……もう、この世にはいない

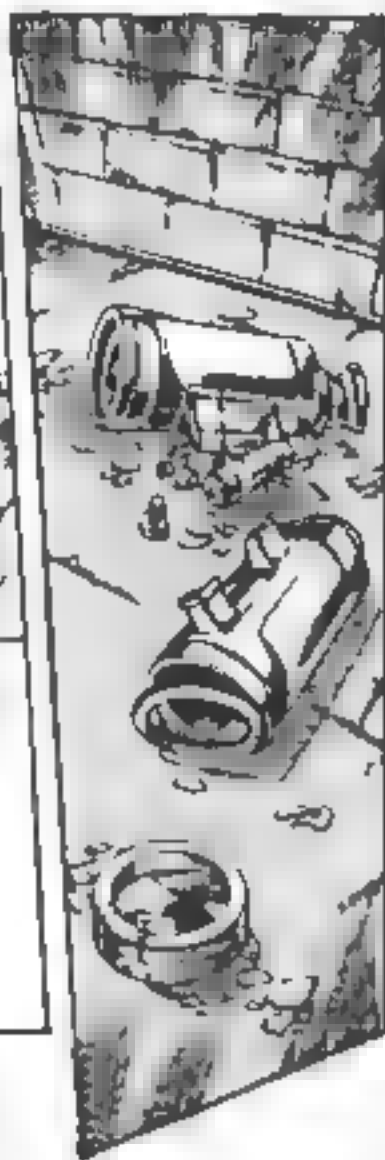
ドドドドドド
ブチャラティ…
………
どこ行った…
腕のヤツは……
消えた………
まさか！

おまえが連れて来たヤツはどこへ行ったッ!?
!!
どこ行った——ッ!!
そいつの名はディアボロ その②
!
ブチャラティ おまえの隣にいたヤツは何者だと聞いているんだ——ッ!!
……・・・何?
トリッシュ?
?
はッ!

そいつの名は ディアボロ その②

コロ
コロ
コロコロ
コロ
コロ
コロ
コン

これは……
バカなッ!
双眼鏡ガ
落下している! 落ちてたたきつけられたなら 瞬間 音でわかるはずだ!

そして飛び散った部品がすでにオレの背後へ……
まさかッ! この「動き」は……!!

なんてことだ……
間に合わない
「コロッセオの男」は……!
今ボスの射程の中に入ったッ!
たった今「時間」が……!!
飛んだぞッ!
ヴェネツィアの時と同じだ……!!
いつの間にかぼくらは階段を登っているッ!
そ、それって……!!
トリッシュ……ボスはどこへ――ッ!!
…………

バカなッ！
そんなハズはッ！
あれは
子供だったたッ！
確かにッ!!
コツーン
コツーン
コツーン
はっ!!

コツーン
コツーン
コツーン
コツーン
これは
「試練」だ
過去に打ち勝てという「試練」と
オレは受けとった
コツーン
コツーン
コツーン
コツーン

人の成長は……
未熟な過去に打ち勝つことだとな
え？
おまえもそうだろう？J・P・ポルナレフ

きさまは!!
まさかッ!
過去は……
バラバラにしてやっても
石の下から……

ミミズのように
はい出てくる……
驚いたぞ……
反逆者の心あたりが全くないわけだ……
数年前海にバラまいてやったはずのおまえがどうやって生きていたのかはどうでもいい…!!
重要なのはッ! ポルナレフッ!
オレの事やッ……!!
ディアボロきさまはッ!

おまえが「何」しに来たかだッ！ブチャラティどもに『何』を伝えようとしているのかって事だッ！
その階段に足をかけるんじゃあねえ――ッ！
オレは上！きさまは下だ!!
そうはいかない…
オレの正体や過去を教えるためって事だけではあるまい……
ン？
それ……
エジプトで手に入れたのか？なぜここに「矢」を持って来ている？
一本ありゃあ十分だと思っていたが…重要なのはそれか？
その「矢」で何をしようとしているのだ？

ポタッ

ポタリ

なぜ自分で闘わない？

ボルナレフ……？

精神力が衰えたからか？それとも再起不能だからか？

その「矢」は何に使う？

ゴゴゴ

おまえが下だ！ボルナレフッ！

おまえが地獄の下にいれば「矢」を何に使おうともう何も問題はないッ！

ドン

ポタ

そこだ
シルバー
チャリオッツ!

衰えては……
いないのか… その「精神力」…
そして勉強したようだな
時が消し飛んだ瞬間を「血の滴」で見分ける方法を… なるほど 敵の一瞬の変化で…
タイミングも天才的だ… もう少し近づいていたら深くダメージを受けていた…

この野郎に会うのが2度再会するのか!?
なんて事だ…誰よりも早くここに来たのがディアボロだとは
次はない…
だが なんとしても「希望」だけは…「希望」だけは守らなくては
『キング・クリムゾンッ』!
すでに射程距離に入っているッ!
今度は逃がさないッ!

これで時が再び刻み始める時、おまえは目が曇って血の滴の数が見えない……
未熟なオレの過去を……
この時点でオレは乗り越えた……!!

くらえッ！
時は再び
刻み始
……!!
ハッ！

ドロッ
ドドロッ
ドロ
ドロッ
な…なんだ!?
これは……
「矢」が…!!「スタンド」を……

何かわからんがくらえッ!
この〝矢〟は…〝チャリオッツ〟に何をしてるのだッ!?
何かパワーがあるッ!

こ…この輝きは「矢」のせいかッ!?
ま…まずい!
間かッ!
くらえッ!
ド
時よ再始動しろーーッ!!
「矢」のさらに先に存在もの

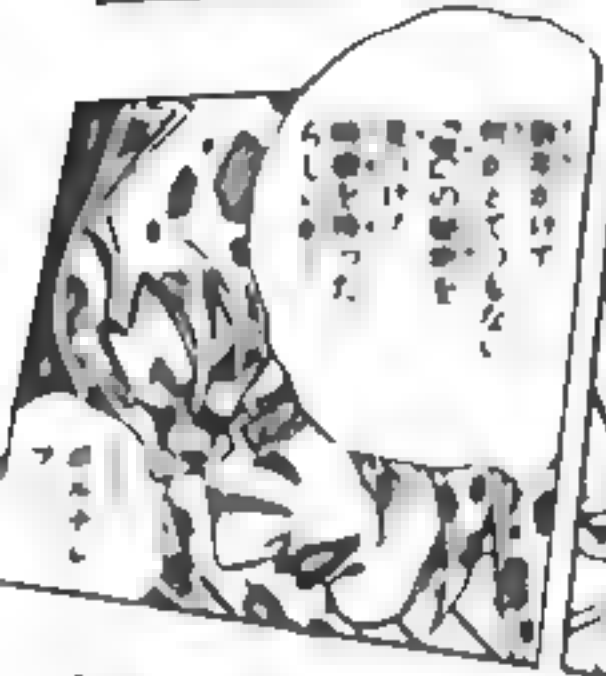
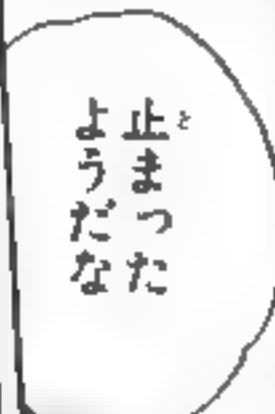
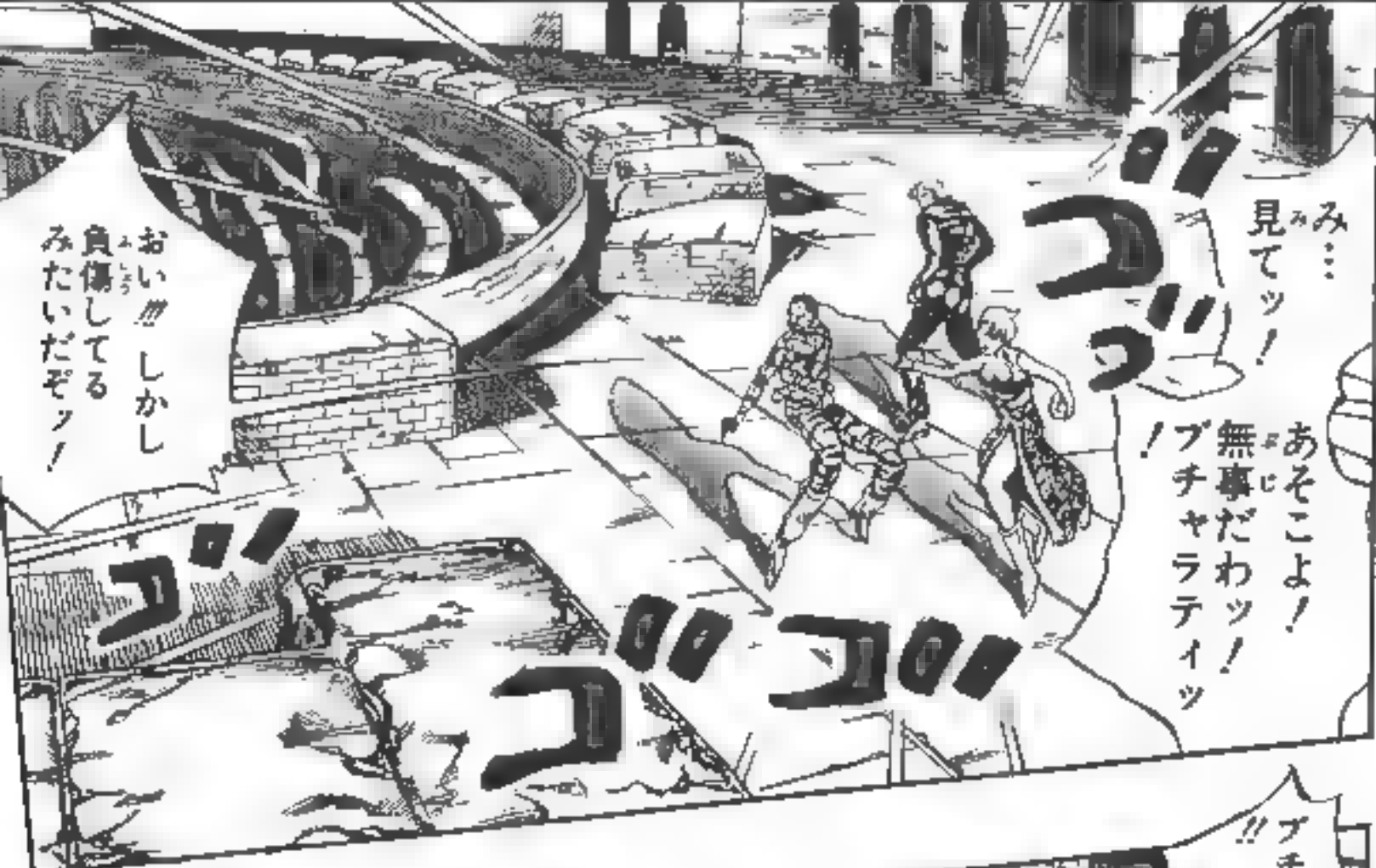
「矢」のさらに
先に存在もの

バカな！
チャリオッツの射程は近距離パワー型 離れても2メートル程度のはず！
何をした？
『矢』の使い道は本体からスタンドの才能を引き出すだけではなかったのか？
スタンド自体を『矢』で貫いたからか!?

これは……
「賭け」……だ……
「矢」をディアボロに渡さないための賭けだ……「矢」は希望なのだ…こいつに見せたくはなかった……しかし、勝利者として再起不能のオレは「矢」を完全に操るパワーはすでにない……
あの「矢」を完全に制する者が……
この世を制する者となる……"
ま…またた飛んだぞ"
時間がまた飛んだぞ!
逃がさんッ!

ドドドド
ドドドド
ドドドド
動きは予測できるッ!
壁を伝って「矢」を階下へ移動させようとしているなッ!

そこだッ！
すでにッ!!

だったな
「矢」を手にしたのはオレだ!!
…………
ドクン
ドクン…
ドク…
……
……

ドロロ
心臓の鼓動が……
止まったようだな
ドドドドドドド
…………
しかし……
おまえが生きて来た
おまえの人生は……
射程が離れて溶けた……スタンドとともに
決して無駄ではなかったぞ……
J・P・ポルナレフ………
どれだけおまえはりっぱに役に立ったことか…
このオレのためにな………!!
あとはこの矢の「謎」を解くだけだ
チラ!

み…見てッ！
あそこよ！無事だわッ！ブチャラティィッ！
おい!!! しかし負傷してるみたいだぞッ！
ブチャラティ!!
気をつけてボスが…!!
どこか近くに感じるわッ！
来たか…
トリッシュだ…
ひとり…ふたり…
3人…
亀の中にひとり…いるな…

……
……
ドサッ

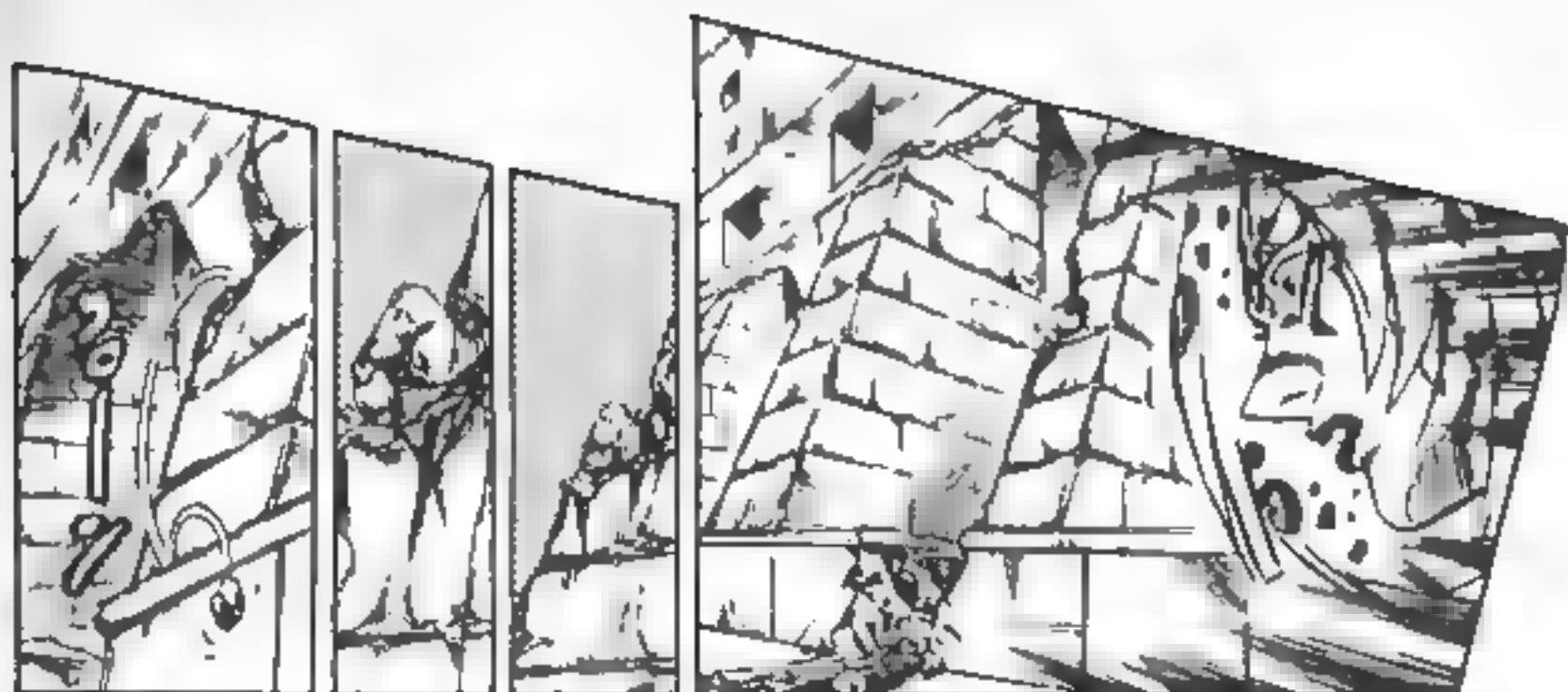
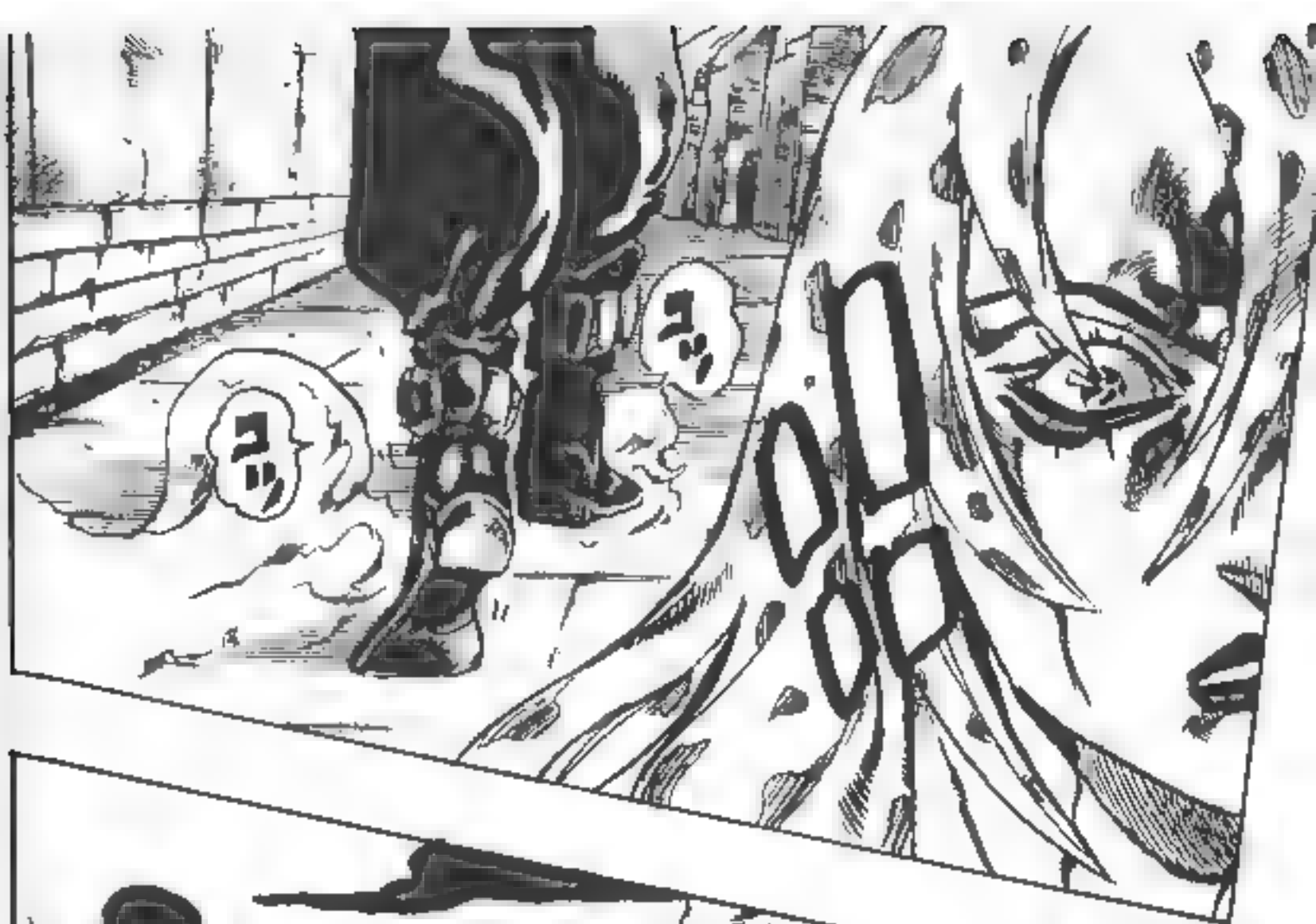
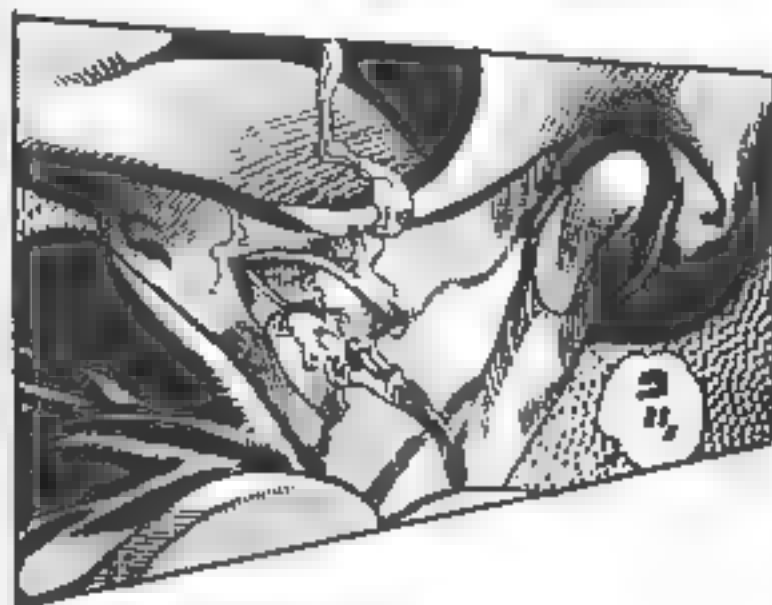
ゴゴゴゴ
ゴゴゴ
何ッ!!

コツ
コツ
コツ
コツ
コツ

コロッ
コロッ

きさま………
!?
何者だ!!
いつから
そこにいるッ!

コッ
コッ

コッ

誰だ！おまえはッ！
ドドドド
ヨロ
ヨロ
何だッ！その首に見えるそのアザの形はッ！待てッ！
ドドドド
……は……！
…………

こ…これは……なんだ？
!?
ヌゥーン
ききまッ！止まれと言ってるんだッ！こっちに顔を向け………
どうしたのだ!? なぜ…オレは「矢」を手から落としてしまったんだ!?
……
……
ズ…
なぜすわるんだ……？
やつは…確かチャリオッツが溶けた…髪の上に…いた…
これは！
もしかして……
あの…「矢」の……

ミ…ミスタッ！
トリッシュを守るんだ！
何か様子が変だ…！
……
おかしい！……
こ…この気分は!!
……!!
パタッ
クークー
スースー
スースー
……!?
ブ
ブチャラティ…

61 そいつの名はディアボロの巻(完)

■ジャンプ・コミックス

ジョジョの奇妙な冒険
61そいつの名は
ディアボロの巻

1999年1月13日　第1刷発行

著者　荒木飛呂彦

編集　ホーム社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03(5211)2651

発行人　山下秀樹

発行所　株式会社　集英社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
03(3230)6233(編集)
電話　東京　03(3230)6191(販売)
03(3230)6076(制作)
Printed in Japan

印刷所　株式会社　美松堂
中央精版印刷株式会社

ISBN4-08-872652-9 C9979